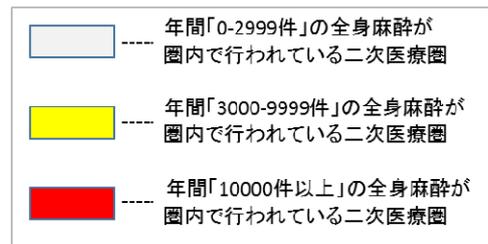
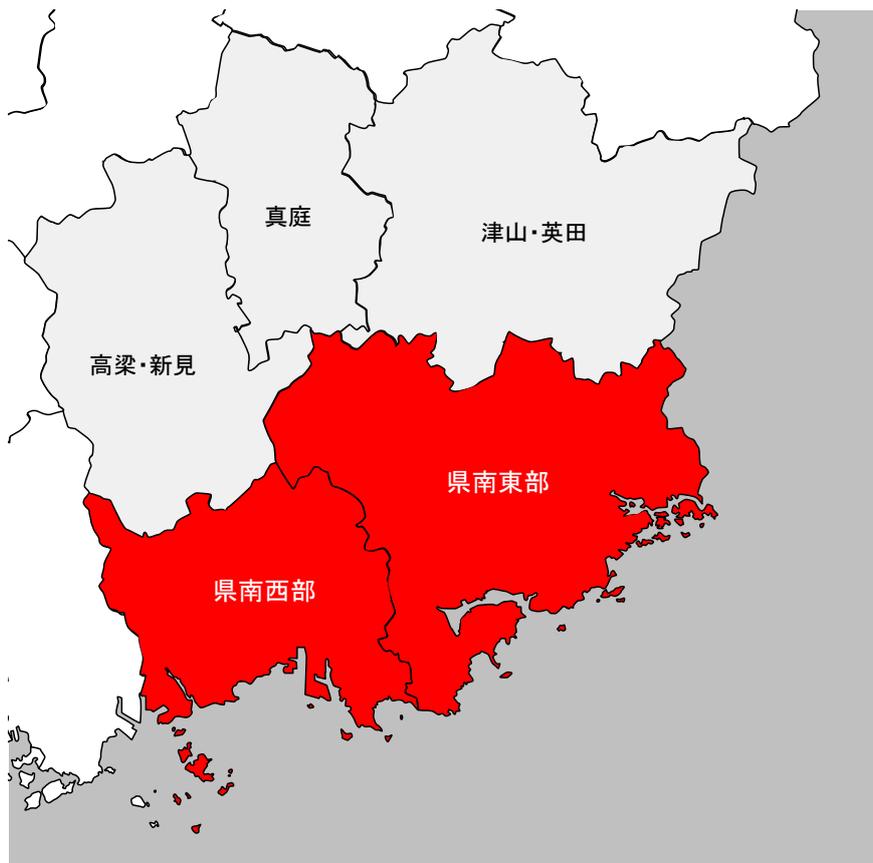


33. 岡山県



目次

岡山県	33	-	3
1. 県南東部医療圏	33	-	9
2. 県南西部医療圏	33	-	15
3. 高梁・新見医療圏	33	-	21
4. 真庭医療圏	33	-	27
5. 津山・英田医療圏	33	-	33

岡山県

<医師数の推移>

1996年から2016年にかけて、総人口は29,225人(-1%)減少した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は1,416人(33%)増加した。2016年の人口10万人当たり医師数は299人であり、全国平均(240人)と比べて高いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は35%増え、その伸び率は全国平均(31%)を上回る。

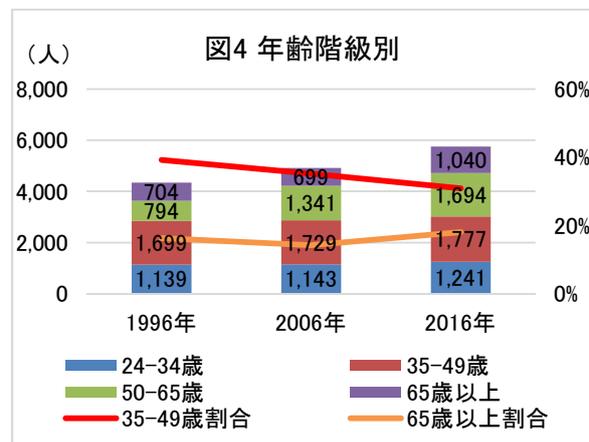
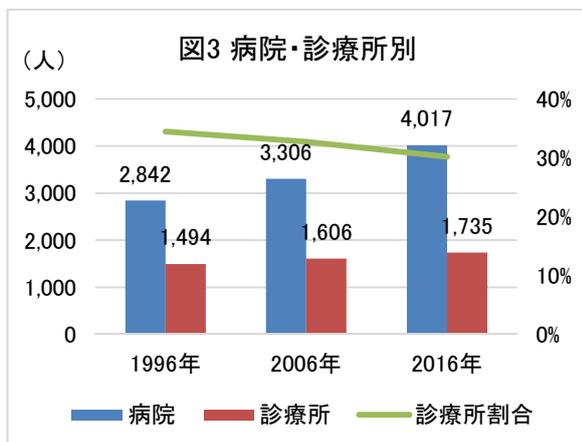
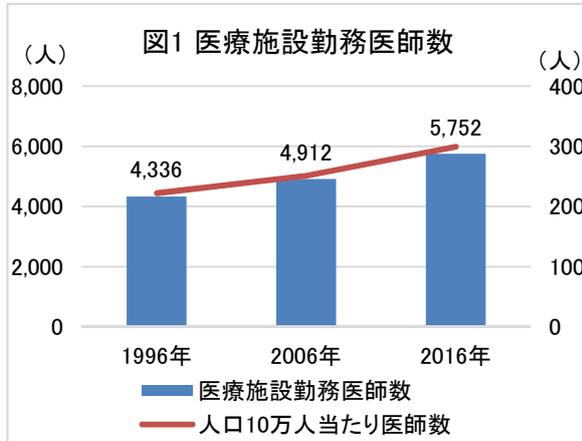
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて793人(21%)増え、全国平均(20%)を上回る増加率である。女性医師は、同期間に623人(111%)増え、全国平均(111%)と同程度の増加率である。2016年の女性医師割合は21%と、全国平均(21%)と同程度である。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて1,175人(41%)増え、全国平均(37%)を上回る増加率である。診療所医師は、同期間に241人(16%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。2016年の診療所医師割合は30%と、全国平均(34%)を下回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は78人(5%)増え、全国平均(11%)を下回る増加率となっており、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて336人(48%)増え、全国平均(20%)を上回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年16%、2016年18%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいる。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

岡山県

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	1,950,750	1,957,264	1,921,525	-29,225	-1%	6,514	0%	-35,739	-2%	
総医師数	4,513	5,163	5,975	1,462	32%	650	14%	812	16%	
人口10万対	231.3	263.8	311.0	79.6	34%	32.4	14%	47.2	18%	
医療施設勤務医師数	4,336	4,912	5,752	1,416	33%	576	13%	840	17%	
人口10万対	222.3	251.0	299.3	77.1	35%	28.7	13%	48.4	19%	
男性医師数	3,775	4,092	4,568	793	21%	317	8%	476	12%	
人口10万対	193.5	209.1	237.7	44.2	23%	15.6	8%	28.7	14%	
女性医師数	561	820	1,184	623	111%	259	46%	364	44%	
人口10万対	28.8	41.9	61.6	32.9	114%	13.1	46%	19.7	47%	
病院勤務医師数	2,842	3,306	4,017	1,175	41%	464	16%	711	22%	
人口10万対	145.7	168.9	209.1	63.4	43%	23.2	16%	40.1	24%	
診療所勤務医師数	1,494	1,606	1,735	241	16%	112	7%	129	8%	
人口10万対	76.6	82.1	90.3	13.7	18%	5.5	7%	8.2	10%	
医療施設勤務医 平均年齢	46.9	47.9	49.8	2.8	6%	1.0	2%	1.9	4%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	1,139	1,143	1,241	102	9%	4	0%	98	9%
	35-49歳	1,699	1,729	1,777	78	5%	30	2%	48	3%
	50-64歳	794	1,341	1,694	900	113%	547	69%	353	26%
	65歳以上	704	699	1,040	336	48%	-5	-1%	341	49%
	75歳以上(再掲)	239	303	352	113	47%	64	27%	49	16%
男性	24-34歳	891	808	839	-52	-6%	-83	-9%	31	4%
	35-49歳	1,496	1,426	1,310	-186	-12%	-70	-5%	-116	-8%
	50-64歳	740	1,196	1,459	719	97%	456	62%	263	22%
	65歳以上	648	662	960	312	48%	14	2%	298	45%
	75歳以上(再掲)	210	287	331	121	58%	77	37%	44	15%
女性	24-34歳	248	335	402	154	62%	87	35%	67	20%
	35-49歳	203	303	467	264	130%	100	49%	164	54%
	50-64歳	54	145	235	181	335%	91	169%	90	62%
	65歳以上	56	37	80	24	43%	-19	-34%	43	116%
	75歳以上(再掲)	29	16	21	-8	-28%	-13	-45%	5	31%
病院	24-34歳	1,103	1,119	1,216	113	10%	16	1%	97	9%
	35-49歳	1,165	1,311	1,435	270	23%	146	13%	124	9%
	50-64歳	379	653	969	590	156%	274	72%	316	48%
	65歳以上	195	223	397	202	104%	28	14%	174	78%
	75歳以上(再掲)	62	92	115	53	85%	30	48%	23	25%
診療所	24-34歳	36	24	25	-11	-31%	-12	-33%	1	4%
	35-49歳	534	418	342	-192	-36%	-116	-22%	-76	-18%
	50-64歳	415	688	725	310	75%	273	66%	37	5%
	65歳以上	509	476	643	134	26%	-33	-6%	167	35%
	75歳以上(再掲)	177	211	237	60	34%	34	19%	26	12%
	85歳以上(再掲)	24	27	49	25	104%	3	13%	22	81%

岡山県

＜医師数の推移＞

岡山県において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科は、内科(総数)、精神科、外科(総数)、心臓血管外科、脳神経外科、形成外科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科であり、少ない診療科はない。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、外科(総数)である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、小児外科、心臓血管外科、脳神経外科、形成外科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、救急科、臨床研修医である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	4,336	222.3	55	4,912	251.0	56	5,752	299.3	57	1,416	33%	77.1	35%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	1,855	95.1	56	1,936	98.9	57	2,156	112.2	57	301	16%	17.1	18%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	232	11.9	52	248	12.7	53	308	16.0	55	76	33%	4.1	35%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	210	10.8	57	239	12.2	55	296	15.4	56	86	41%	4.6	43%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	503	25.8	55	464	23.7	58	485	25.2	59	-18	-4%	-0.5	-2%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	5	0.3	47	19	1.0	58	13	0.7	51	8	160%	0.4	164%
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	34	1.7	51	43	2.2	51	68	3.5	56	34	100%	1.8	103%
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	98	5.0	52	126	6.4	57	149	7.8	58	51	52%	2.7	54%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	281	14.4	53	314	16.0	53	358	18.6	54	77	27%	4.2	29%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	25	1.3	52	49	2.5	57	59	3.1	57	34	136%	1.8	140%
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	117	6.0	52	114	5.8	49	145	7.5	51	28	24%	1.5	26%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	183	9.4	51	207	10.6	52	216	11.2	52	33	18%	1.9	20%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	147	7.5	51	151	7.7	52	165	8.6	54	18	12%	1.1	14%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	80	4.1	50	99	5.1	51	107	5.6	50	27	34%	1.5	36%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	204	10.5	51	190	9.7	51	220	11.4	52	16	8%	1.0	9%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	21	1.1	55	48	2.5	58	64	3.3	59	43	205%	2.3	209%
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	94	4.8	55	115	5.9	57	145	7.5	56	51	54%	2.7	57%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	104	5.3	54	119	6.1	54	194	10.1	56	90	87%	4.8	89%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				36	1.8	54	62	3.2	53	26	72%	1.4	75%
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				193	9.9	48	322	16.8	54	322	67%	6.9	70%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	143	7.3	56	202	10.3	60	220	11.4	57	77	54%	4.1	56%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

岡山県

＜医師将来推計＞

2016年から2036年にかけて、総人口は239,366人(-12%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は1,283人(22%)増加すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は418人であり、全国平均(329人)と比べて高いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は40%増え、その伸び率は全国平均(37%)を上回る。

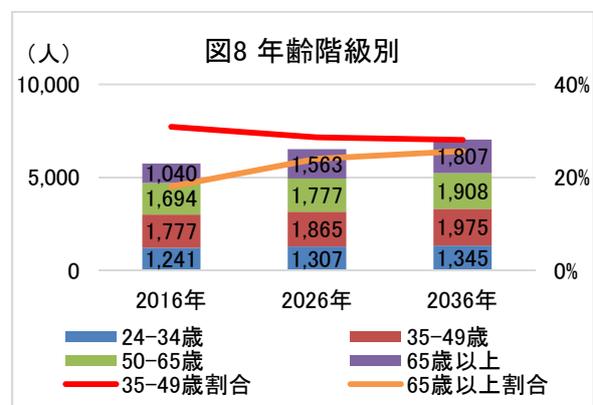
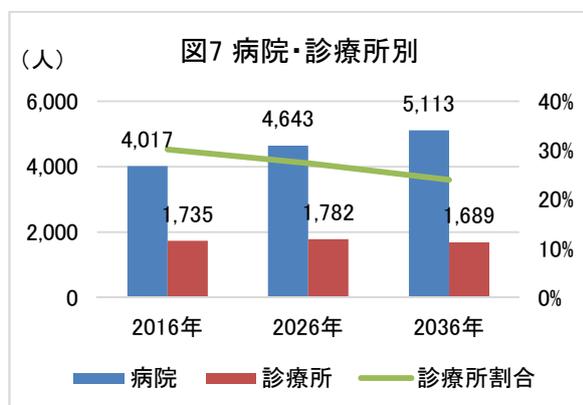
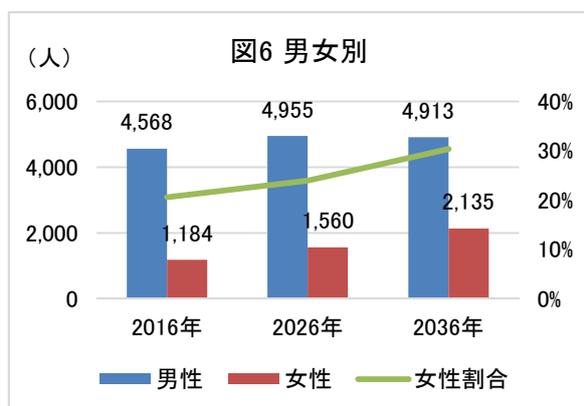
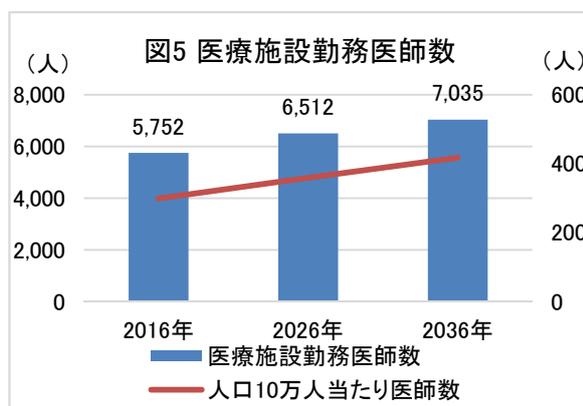
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて345人(8%)増え、全国平均(7%)を上回る増加率である。女性医師は、同期間に951人(80%)増え、全国平均(76%)を上回る増加率である。2036年の女性医師割合は30%と、全国平均(31%)を下回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて1,096人(27%)増え、全国平均(25%)を上回る増加率である。診療所医師は、同期間に46人(-3%)減り、全国平均(-7%)を下回る減少率である。2036年の診療所医師割合は24%と、全国平均(26%)を下回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は198人(11%)増え、全国平均(8%)を上回る増加率と推計された。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて767人(74%)増え、全国平均(93%)を下回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年18%、2036年26%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



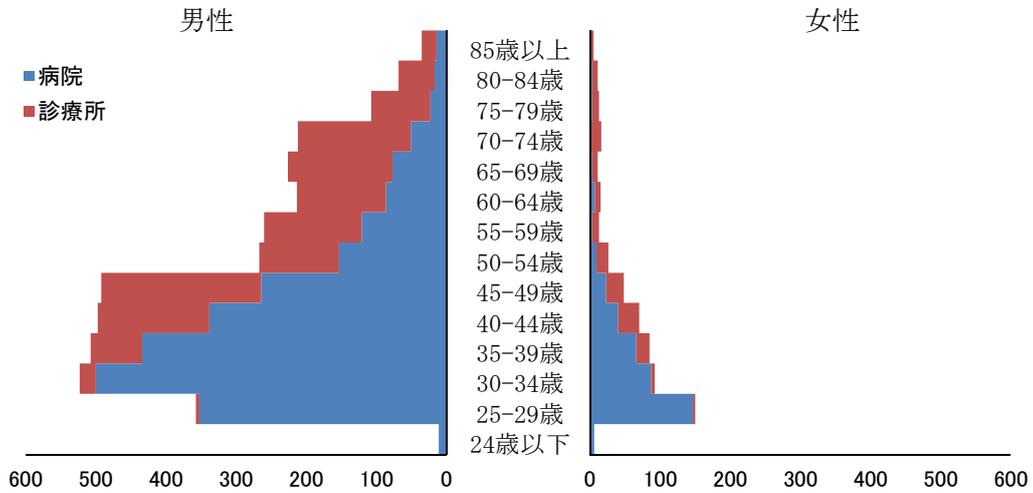
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

岡山県

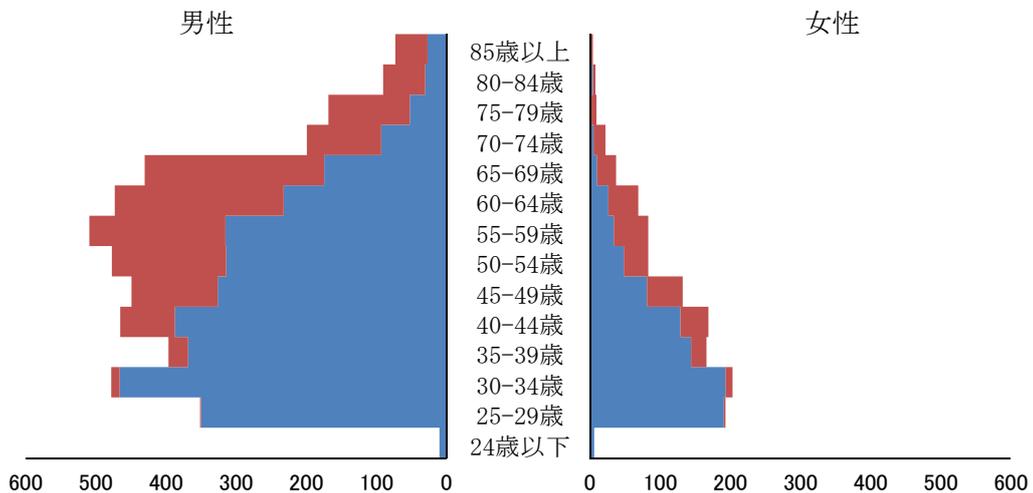
<医師数ピラミッドの推移(含推計)>

(単位:人)

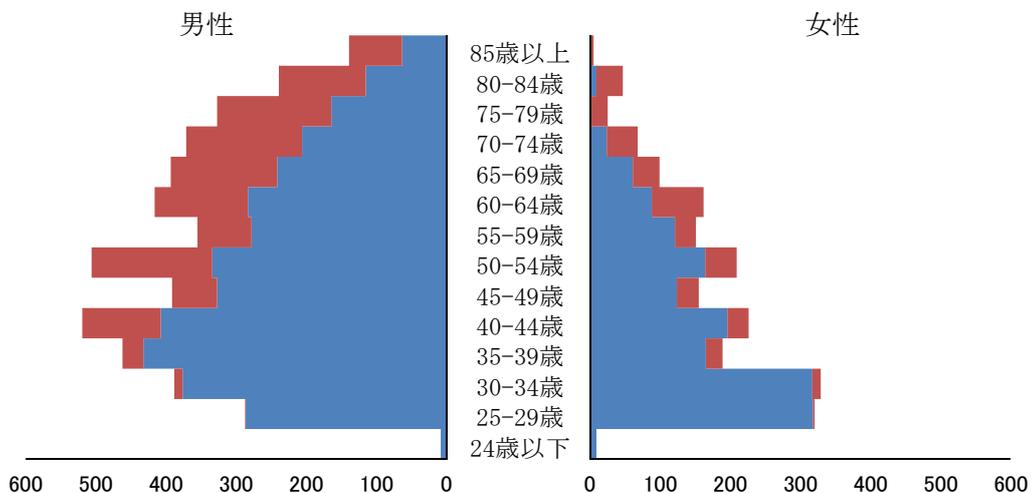
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

岡山県

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	1,921,525	1,811,274	1,682,159	-239,366	-12%	-110,251	-6%	-129,115	-7%	
医療施設勤務医師数	5,752	6,512	7,035	1,283	22%	760	13%	523	8%	
人口10万対	299.3	359.5	418.2	118.9	40%	60.2	20%	58.7	16%	
男性医師数	4,568	4,955	4,913	345	8%	387	8%	-42	-1%	
人口10万対	237.7	273.6	292.1	54.3	23%	35.8	15%	18.5	7%	
女性医師数	1,184	1,560	2,135	951	80%	376	32%	575	37%	
人口10万対	61.6	86.1	126.9	65.3	106%	24.5	40%	40.8	47%	
病院勤務医師数	4,017	4,643	5,113	1,096	27%	626	16%	470	10%	
人口10万対	209.1	256.3	304.0	94.9	45%	47.3	23%	47.6	19%	
診療所勤務医師数	1,735	1,782	1,689	-46	-3%	47	3%	-93	-5%	
人口10万対	90.3	98.4	100.4	10.1	11%	8.1	9%	2.0	2%	
医療施設 勤務医師 数	24-34歳	1,241	1,307	1,345	104	8%	66	5%	38	3%
	35-49歳	1,777	1,865	1,975	198	11%	88	5%	110	6%
	50-64歳	1,694	1,777	1,908	214	13%	83	5%	131	7%
	65歳以上	1,040	1,563	1,807	767	74%	523	50%	244	16%
	75歳以上(再掲)	352	582	824	472	134%	230	65%	242	42%
男性	24-34歳	839	883	681	-158	-19%	44	5%	-202	-23%
	35-49歳	1,310	1,298	1,372	62	5%	-12	-1%	74	6%
	50-64歳	1,459	1,388	1,337	-122	-8%	-71	-5%	-51	-4%
	65歳以上	960	1,386	1,523	563	59%	426	44%	137	10%
	75歳以上(再掲)	331	531	721	390	118%	200	60%	190	36%
女性	24-34歳	402	424	657	255	63%	22	5%	233	55%
	35-49歳	467	576	612	145	31%	109	23%	36	6%
	50-64歳	235	394	597	362	154%	159	68%	203	52%
	65歳以上	80	166	269	189	236%	86	108%	103	62%
	75歳以上(再掲)	21	43	99	78	371%	22	105%	56	130%
病院	24-34歳	1,216	1,282	1,319	103	8%	66	5%	37	3%
	35-49歳	1,435	1,542	1,638	203	14%	107	7%	96	6%
	50-64歳	969	1,126	1,243	274	28%	157	16%	117	10%
	65歳以上	397	693	913	516	130%	296	75%	220	32%
	75歳以上(再掲)	115	226	376	261	227%	111	97%	150	66%
診療所	24-34歳	25	25	26	1	4%	0	0%	1	4%
	35-49歳	342	293	301	-41	-12%	-49	-14%	8	3%
	50-64歳	725	605	530	-195	-27%	-120	-17%	-75	-12%
	65歳以上	643	859	832	189	29%	216	34%	-27	-3%
	75歳以上(再掲)	237	359	430	193	81%	122	51%	71	20%
	85歳以上(再掲)	49	54	83	34	69%	5	10%	29	54%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

県南東部医療圏

<医師数の推移>

1996年から2016年にかけて、総人口は27,436人(3%)増加した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は925人(40%)増加した。2016年の人口10万人当たり医師数は352人であり、全国平均(240人)と比べて高いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は36%増え、その伸び率は全国平均(31%)を上回る。

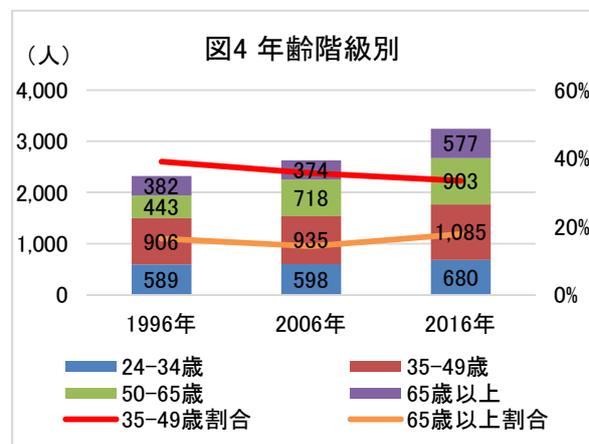
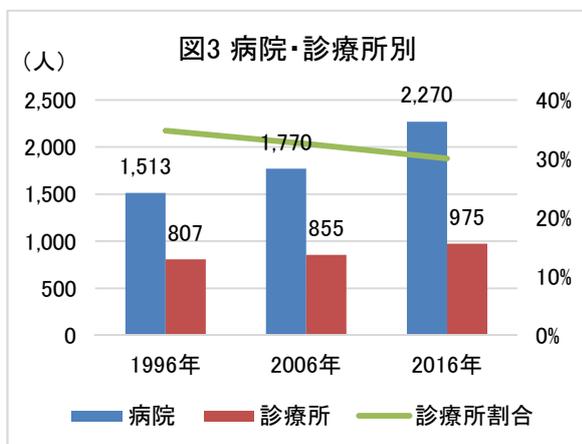
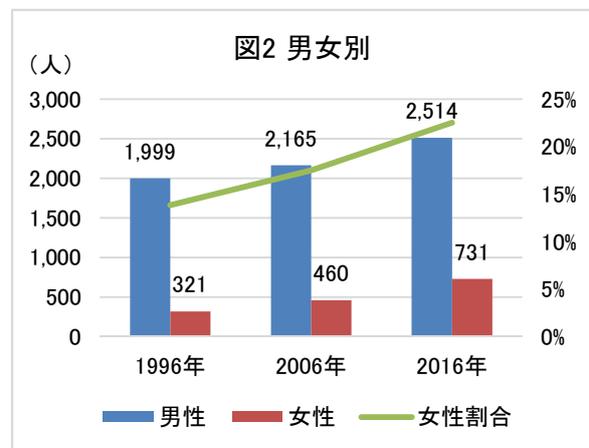
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて515人(26%)増え、全国平均(20%)を上回る増加率である。女性医師は、同期間に410人(128%)増え、全国平均(111%)を上回る増加率である。2016年の女性医師割合は23%と、全国平均(21%)を上回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて757人(50%)増え、全国平均(37%)を上回る増加率である。診療所医師は、同期間に168人(21%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。2016年の診療所医師割合は30%と、全国平均(34%)を下回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は179人(20%)増え、全国平均(11%)を上回る増加率である。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて195人(51%)増え、全国平均(20%)を上回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年16%、2016年18%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいる。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

県南東部医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	894,504	916,674	921,940	27,436	3%	22,170	2%	5,266	1%	
総医師数	2,424	2,758	3,377	953	39%	334	14%	619	22%	
人口10万対	271.0	300.9	366.3	95.3	35%	29.9	11%	65.4	22%	
医療施設勤務医師数	2,320	2,625	3,245	925	40%	305	13%	620	24%	
人口10万対	259.4	286.4	352.0	92.6	36%	27.0	10%	65.6	23%	
男性医師数	1,999	2,165	2,514	515	26%	166	8%	349	16%	
人口10万対	223.5	236.2	272.7	49.2	22%	12.7	6%	36.5	15%	
女性医師数	321	460	731	410	128%	139	43%	271	59%	
人口10万対	35.9	50.2	79.3	43.4	121%	14.3	40%	29.1	58%	
病院勤務医師数	1,513	1,770	2,270	757	50%	257	17%	500	28%	
人口10万対	169.1	193.1	246.2	77.1	46%	23.9	14%	53.1	28%	
診療所勤務医師数	807	855	975	168	21%	48	6%	120	14%	
人口10万対	90.2	93.3	105.8	15.5	17%	3.1	3%	12.5	13%	
医療施設勤務医 平均年齢	47.1	48.0	49.5	2.4	5%	0.8	2%	1.6	3%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	589	598	680	91	15%	9	2%	82	14%
	35-49歳	906	935	1,085	179	20%	29	3%	150	16%
	50-64歳	443	718	903	460	104%	275	62%	185	26%
	65歳以上	382	374	577	195	51%	-8	-2%	203	54%
	75歳以上(再掲)	119	159	204	85	71%	40	34%	45	28%
男性	24-34歳	456	414	456	0	0%	-42	-9%	42	10%
	35-49歳	781	763	765	-16	-2%	-18	-2%	2	0%
	50-64歳	409	633	763	354	87%	224	55%	130	21%
	65歳以上	353	355	530	177	50%	2	1%	175	49%
	75歳以上(再掲)	108	153	194	86	80%	45	42%	41	27%
女性	24-34歳	133	184	224	91	68%	51	38%	40	22%
	35-49歳	125	172	320	195	156%	47	38%	148	86%
	50-64歳	34	85	140	106	312%	51	150%	55	65%
	65歳以上	29	19	47	18	62%	-10	-34%	28	147%
	75歳以上(再掲)	11	6	10	-1	-9%	-5	-45%	4	67%
病院	24-34歳	566	585	669	103	18%	19	3%	84	14%
	35-49歳	629	705	877	248	39%	76	12%	172	24%
	50-64歳	211	361	497	286	136%	150	71%	136	38%
	65歳以上	107	119	227	120	112%	12	11%	108	91%
	75歳以上(再掲)	38	51	67	29	76%	13	34%	16	31%
診療所	24-34歳	23	13	11	-12	-52%	-10	-43%	-2	-15%
	35-49歳	277	230	208	-69	-25%	-47	-17%	-22	-10%
	50-64歳	232	357	406	174	75%	125	54%	49	14%
	65歳以上	275	255	350	75	27%	-20	-7%	95	37%
	75歳以上(再掲)	81	108	137	56	69%	27	33%	29	27%
	85歳以上(再掲)	12	14	24	12	100%	2	17%	10	71%

県南東部医療圏

<医師数の推移>

県南東部医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科は、内科(総数)、小児科、精神科、外科(総数)、心臓血管外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、産婦人科(総数)、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、臨床研修医であり、少ない診療科はない。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科はない。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、小児外科、心臓血管外科、脳神経外科、形成外科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、臨床研修医である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	2,320	259.4	59	2,625	286.4	60	3,245	352.0	63	925	40%	92.6	36%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	964	107.8	60	995	108.5	60	1,172	127.1	62	208	22%	19.4	18%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	135	15.1	59	138	15.1	58	171	18.5	60	36	27%	3.5	23%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	134	15.0	67	158	17.2	66	195	21.2	66	61	46%	6.2	41%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	255	28.5	58	227	24.8	60	265	28.7	63	10	4%	0.2	1%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	5	0.6	52	12	1.3	64	8	0.9	54	3	60%	0.3	55%
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	26	2.9	59	31	3.4	58	44	4.8	63	18	69%	1.9	64%
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	53	5.9	56	74	8.1	64	88	9.5	64	35	66%	3.6	61%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	150	16.8	58	170	18.5	58	207	22.5	61	57	38%	5.7	34%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	8	0.9	49	27	2.9	60	35	3.8	61	27	338%	2.9	324%
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	71	7.9	57	71	7.7	55	86	9.3	56	15	21%	1.4	18%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	104	11.6	56	113	12.3	56	120	13.0	57	16	15%	1.4	12%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	83	9.3	56	79	8.6	55	89	9.7	58	6	7%	0.4	4%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	40	4.5	52	58	6.3	57	56	6.1	52	16	40%	1.6	36%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	113	12.6	56	108	11.8	57	125	13.6	57	12	11%	0.9	7%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	11	1.2	57	18	2.0	54	40	4.3	65	29	264%	3.1	253%
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	45	5.0	56	58	6.3	58	78	8.5	59	33	73%	3.4	68%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	71	7.9	62	78	8.5	61	130	14.1	65	59	83%	6.2	78%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				15	1.6	52	21	2.3	49	6	40%	0.6	39%
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				119	13.0	52	187	20.3	58	187	57%	7.3	56%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	52	5.8	53	76	8.3	56	128	13.9	61	76	146%	8.1	139%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

県南東部医療圏

<医師将来推計>

2016年から2036年にかけて、総人口は94,786人(-10%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は1,041人(32%)増加すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は518人であり、全国平均(329人)と比べて高いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は47%増え、その伸び率は全国平均(37%)を上回る。

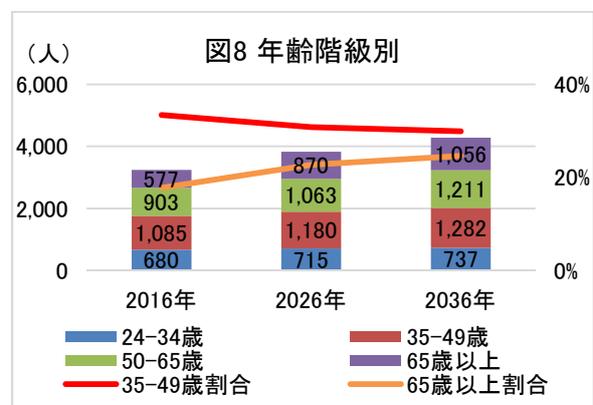
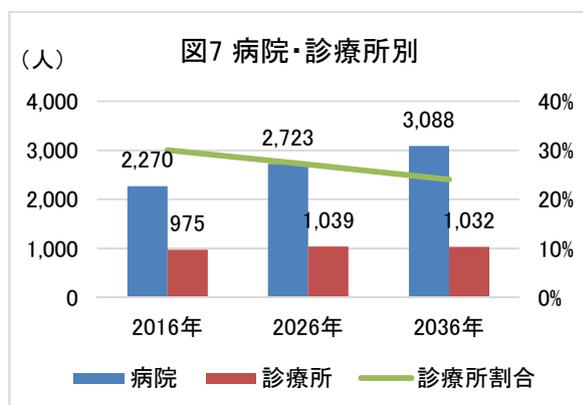
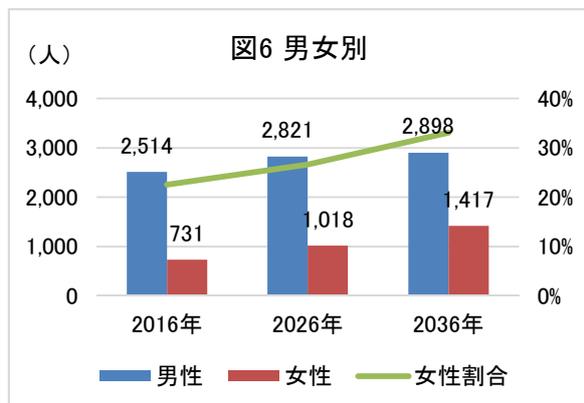
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて384人(15%)増え、全国平均(7%)を上回る増加率である。女性医師は、同期間に686人(94%)増え、全国平均(76%)を上回る増加率である。2036年の女性医師割合は33%と、全国平均(31%)を上回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて818人(36%)増え、全国平均(25%)を上回る増加率である。診療所医師は、同期間に57人(-6%)増え、全国平均(-7%)を下回る減少率である。2036年の診療所医師割合は24%と、全国平均(26%)を下回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は197人(18%)増え、全国平均(8%)を上回る増加率と推計された。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて479人(83%)増え、全国平均(93%)を下回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年18%、2036年25%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



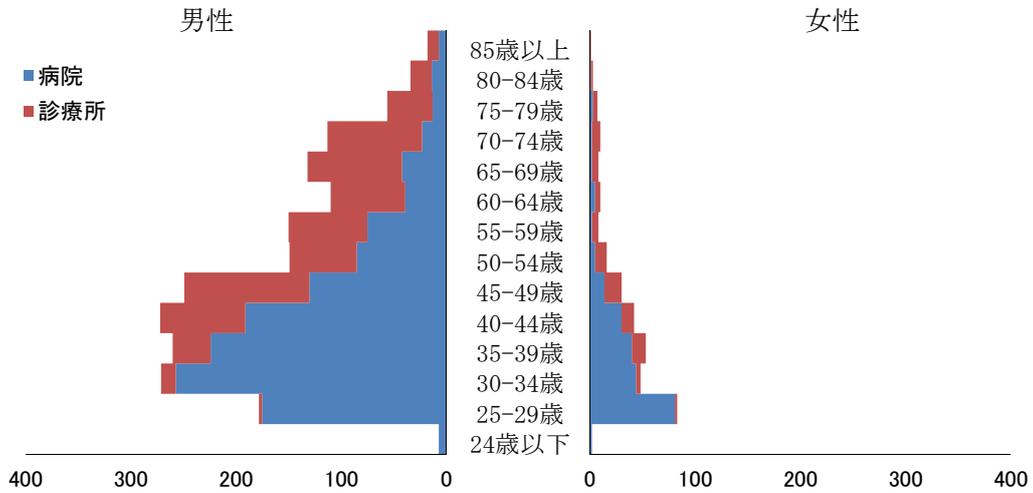
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

県南東部医療圏

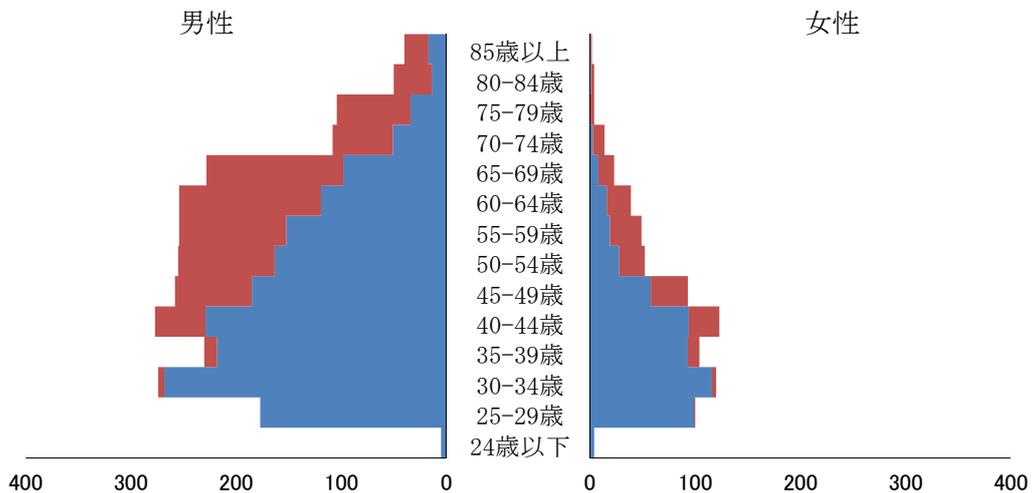
<医師数ピラミッドの推移(含推計)>

(単位:人)

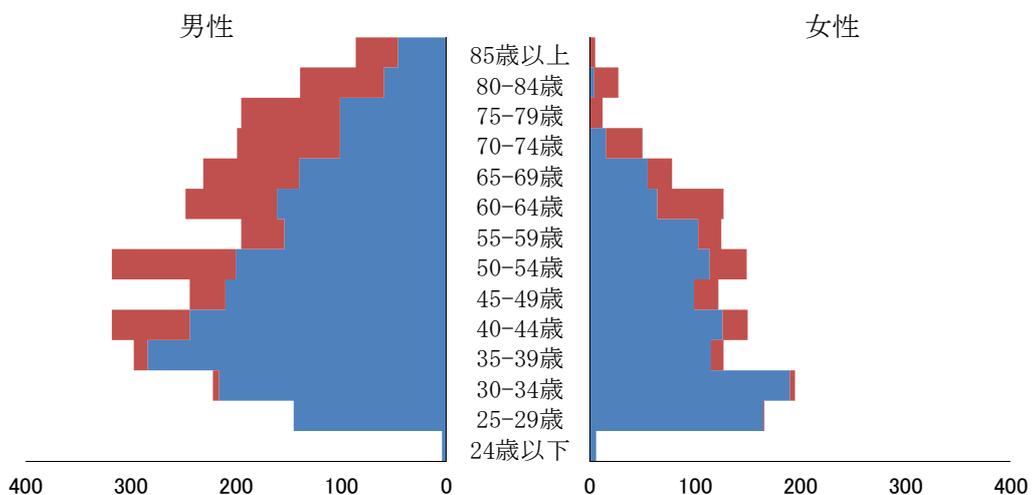
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

県南東部医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	921,940	879,061	827,154	-94,786	-10%	-42,879	-5%	-51,907	-6%	
医療施設勤務医師数	3,245	3,828	4,286	1,041	32%	583	18%	458	12%	
人口10万対	352.0	435.5	518.2	166.2	47%	83.5	24%	82.7	19%	
男性医師数	2,514	2,821	2,898	384	15%	307	12%	77	3%	
人口10万対	272.7	320.9	350.4	77.7	28%	48.2	18%	29.4	9%	
女性医師数	731	1,018	1,417	686	94%	287	39%	399	39%	
人口10万対	79.3	115.8	171.3	92.0	116%	36.5	46%	55.5	48%	
病院勤務医師数	2,270	2,723	3,088	818	36%	453	20%	365	13%	
人口10万対	246.2	309.8	373.3	127.1	52%	63.5	26%	63.6	21%	
診療所勤務医師数	975	1,039	1,032	57	6%	64	7%	-7	-1%	
人口10万対	105.8	118.2	124.8	19.0	18%	12.4	12%	6.6	6%	
医療施設 勤務医師 数	24-34歳	680	715	737	57	8%	35	5%	22	3%
	35-49歳	1,085	1,180	1,282	197	18%	95	9%	102	9%
	50-64歳	903	1,063	1,211	308	34%	160	18%	148	14%
	65歳以上	577	870	1,056	479	83%	293	51%	186	21%
	75歳以上(再掲)	204	341	480	276	135%	137	67%	139	41%
男性	24-34歳	456	479	370	-86	-19%	23	5%	-109	-23%
	35-49歳	765	792	863	98	13%	27	4%	71	9%
	50-64歳	763	783	796	33	4%	20	3%	13	2%
	65歳以上	530	767	869	339	64%	237	45%	102	13%
	75歳以上(再掲)	194	313	421	227	117%	119	61%	108	35%
女性	24-34歳	224	236	366	142	63%	12	5%	130	55%
	35-49歳	320	397	429	109	34%	77	24%	32	8%
	50-64歳	140	289	449	309	221%	149	106%	160	55%
	65歳以上	47	96	173	126	268%	49	104%	77	80%
	75歳以上(再掲)	10	25	53	43	430%	15	150%	28	112%
病院	24-34歳	669	704	725	56	8%	35	5%	21	3%
	35-49歳	877	981	1,069	192	22%	104	12%	88	9%
	50-64歳	497	652	766	269	54%	155	31%	114	17%
	65歳以上	227	386	528	301	133%	159	70%	142	37%
	75歳以上(再掲)	67	140	224	157	234%	73	109%	84	60%
診療所	24-34歳	11	11	12	1	9%	0	0%	1	9%
	35-49歳	208	167	171	-37	-18%	-41	-20%	4	2%
	50-64歳	406	381	346	-60	-15%	-25	-6%	-35	-9%
	65歳以上	350	480	503	153	44%	130	37%	23	5%
	75歳以上(再掲)	137	199	253	116	85%	62	45%	54	27%
	85歳以上(再掲)	24	30	44	20	83%	6	25%	14	47%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

県南西部医療圏

<医師数の推移>

1996年から2016年にかけて、総人口は2,727人(0%)増加した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は500人(34%)増加した。2016年の人口10万人当たり医師数は280人であり、全国平均(240人)と比べて高いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は33%増え、その伸び率は全国平均(31%)を上回る。

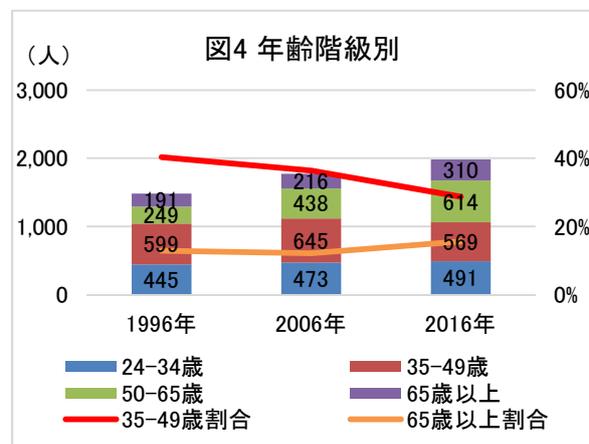
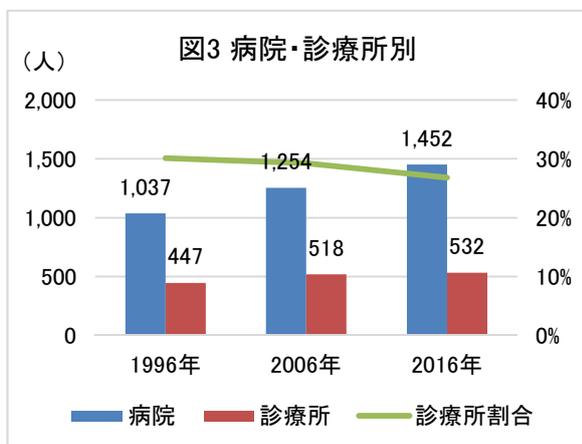
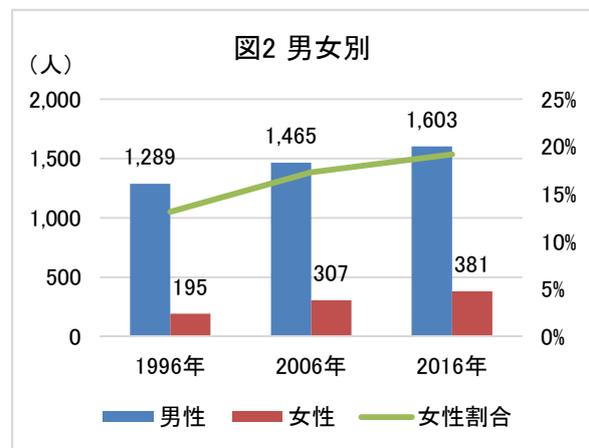
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて314人(24%)増え、全国平均(20%)を上回る増加率である。女性医師は、同期間に186人(95%)増え、全国平均(111%)を下回る増加率である。2016年の女性医師割合は19%と、全国平均(21%)を下回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて415人(40%)増え、全国平均(37%)を上回る増加率である。診療所医師は、同期間に85人(19%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。2016年の診療所医師割合は27%と、全国平均(34%)を下回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は30人(-5%)減り、全国平均(11%)を下回る増加率となっており、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて119人(62%)増え、全国平均(20%)を上回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年13%、2016年16%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいる。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

県南西部医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	704,723	714,121	707,450	2,727	0%	9,398	1%	-6,671	-1%	
総医師数	1,539	1,866	2,053	514	33%	327	21%	187	10%	
人口10万対	218.4	261.3	290.2	71.8	33%	42.9	20%	28.9	11%	
医療施設勤務医師数	1,484	1,772	1,984	500	34%	288	19%	212	12%	
人口10万対	210.6	248.1	280.4	69.9	33%	37.6	18%	32.3	13%	
男性医師数	1,289	1,465	1,603	314	24%	176	14%	138	9%	
人口10万対	182.9	205.1	226.6	43.7	24%	22.2	12%	21.4	10%	
女性医師数	195	307	381	186	95%	112	57%	74	24%	
人口10万対	27.7	43.0	53.9	26.2	95%	15.3	55%	10.9	25%	
病院勤務医師数	1,037	1,254	1,452	415	40%	217	21%	198	16%	
人口10万対	147.2	175.6	205.2	58.1	39%	28.5	19%	29.6	17%	
診療所勤務医師数	447	518	532	85	19%	71	16%	14	3%	
人口10万対	63.4	72.5	75.2	11.8	19%	9.1	14%	2.7	4%	
医療施設勤務医 平均年齢	45.1	46.5	48.8	3.7	8%	1.3	3%	2.3	5%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	445	473	491	46	10%	28	6%	18	4%
	35-49歳	599	645	569	-30	-5%	46	8%	-76	-12%
	50-64歳	249	438	614	365	147%	189	76%	176	40%
	65歳以上	191	216	310	119	62%	25	13%	94	44%
	75歳以上(再掲)	62	94	97	35	56%	32	52%	3	3%
男性	24-34歳	342	342	337	-5	-1%	0	0%	-5	-1%
	35-49歳	539	529	446	-93	-17%	-10	-2%	-83	-16%
	50-64歳	231	392	532	301	130%	161	70%	140	36%
	65歳以上	177	202	288	111	63%	25	14%	86	43%
	75歳以上(再掲)	53	87	90	37	70%	34	64%	3	3%
女性	24-34歳	103	131	154	51	50%	28	27%	23	18%
	35-49歳	60	116	123	63	105%	56	93%	7	6%
	50-64歳	18	46	82	64	356%	28	156%	36	78%
	65歳以上	14	14	22	8	57%	0	0%	8	57%
	75歳以上(再掲)	9	7	7	-2	-22%	-2	-22%	0	0%
病院	24-34歳	435	469	486	51	12%	34	8%	17	4%
	35-49歳	427	503	471	44	10%	76	18%	-32	-6%
	50-64歳	126	219	379	253	201%	93	74%	160	73%
	65歳以上	49	63	116	67	137%	14	29%	53	84%
	75歳以上(再掲)	9	25	31	22	244%	16	178%	6	24%
診療所	24-34歳	10	4	5	-5	-50%	-6	-60%	1	25%
	35-49歳	172	142	98	-74	-43%	-30	-17%	-44	-31%
	50-64歳	123	219	235	112	91%	96	78%	16	7%
	65歳以上	142	153	194	52	37%	11	8%	41	27%
	75歳以上(再掲)	53	69	66	13	25%	16	30%	-3	-4%
	85歳以上(再掲)	6	9	14	8	133%	3	50%	5	56%

県南西部医療圏

<医師数の推移>

県南西部医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科は、外科(総数)、形成外科、リハビリテーション科、放射線科、救急科であり、少ない診療科はない。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、外科(総数)である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、心臓血管外科、脳神経外科、リハビリテーション科、麻酔科、救急科、臨床研修医である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	1,484	210.6	53	1,772	248.1	55	1,984	280.4	55	500	34%	69.9	33%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	603	85.6	53	702	98.3	57	733	103.6	55	130	22%	18.0	21%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	76	10.8	50	86	12.0	51	111	15.7	54	35	46%	4.9	45%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	52	7.4	48	50	7.0	44	74	10.5	47	22	42%	3.1	42%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	180	25.5	55	172	24.1	59	167	23.6	56	-13	-7%	-1.9	-8%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	0	0.0	43	5	0.7	53	5	0.7	51	5		0.7	
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	6	0.9	45	9	1.3	46	20	2.8	52	14	233%	2.0	232%
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	30	4.3	49	40	5.6	53	47	6.6	53	17	57%	2.4	56%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	97	13.8	51	105	14.7	50	115	16.3	49	18	19%	2.5	18%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	16	2.3	61	18	2.5	57	21	3.0	56	5	31%	0.7	31%
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	37	5.3	50	34	4.8	46	48	6.8	49	11	30%	1.5	29%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	65	9.2	51	80	11.2	54	83	11.7	53	18	28%	2.5	27%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	52	7.4	51	61	8.5	55	62	8.8	55	10	19%	1.4	19%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	32	4.5	52	36	5.0	51	46	6.5	54	14	44%	2.0	43%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	71	10.1	50	62	8.7	49	78	11.0	51	7	10%	1.0	9%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	10	1.4	59	28	3.9	70	22	3.1	57	12	120%	1.7	119%
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	44	6.2	59	52	7.3	62	62	8.8	60	18	41%	2.5	40%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	30	4.3	51	39	5.5	52	59	8.3	53	29	97%	4.1	96%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				16	2.2	57	37	5.2	63	21	131%	3.0	133%
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				60	8.4	47	117	16.5	54	117	95%	8.1	97%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	83	11.8	66	117	16.4	72	77	10.9	56	-6	-7%	-0.9	-8%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

県南西部医療圏

<医師将来推計>

2016年から2036年にかけて、総人口は78,731人(-11%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は289人(15%)増加すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は362人であり、全国平均(329人)と比べて高いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は29%増え、その伸び率は全国平均(37%)を下回る。

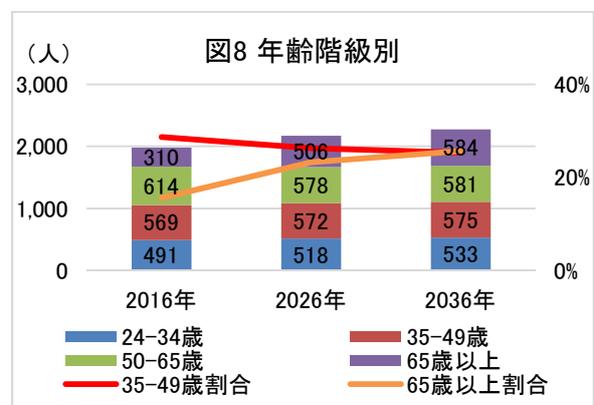
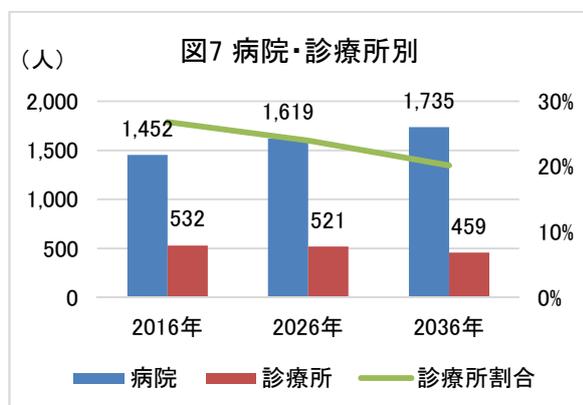
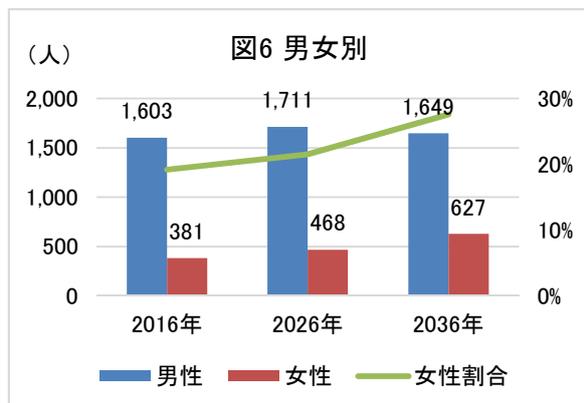
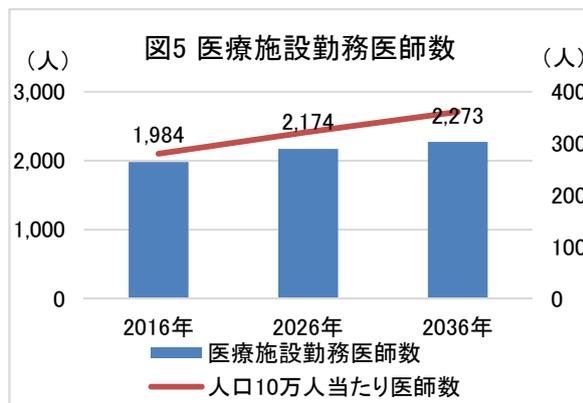
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて46人(3%)増え、全国平均(7%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に246人(65%)増え、全国平均(76%)を下回る増加率である。2036年の女性医師割合は28%と、全国平均(31%)を下回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて283人(19%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に73人(-14%)減り、全国平均(-7%)を上回る減少率である。2036年の診療所医師割合は20%と、全国平均(26%)を下回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は6人(1%)増え、全国平均(8%)を下回る増加率と推計され、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて274人(88%)増え、全国平均(93%)を下回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年16%、2036年26%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



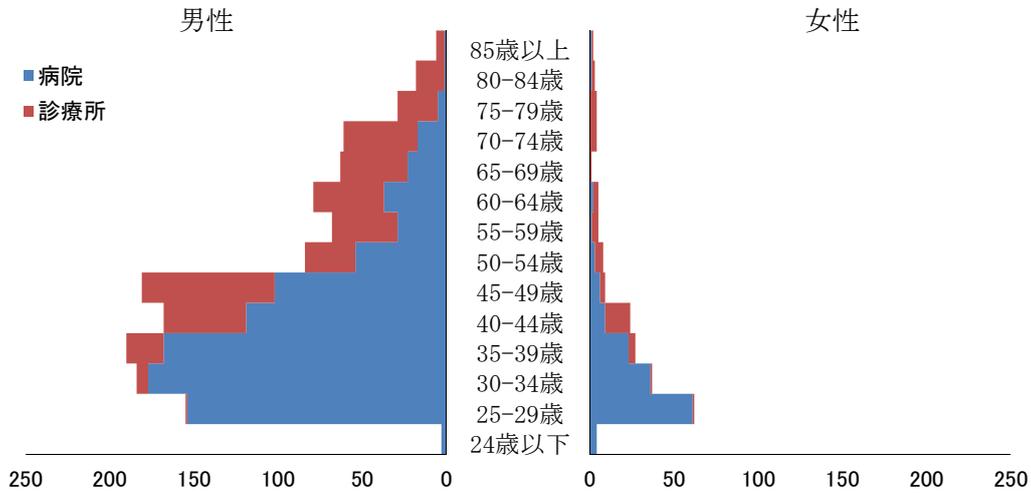
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

県南西部医療圏

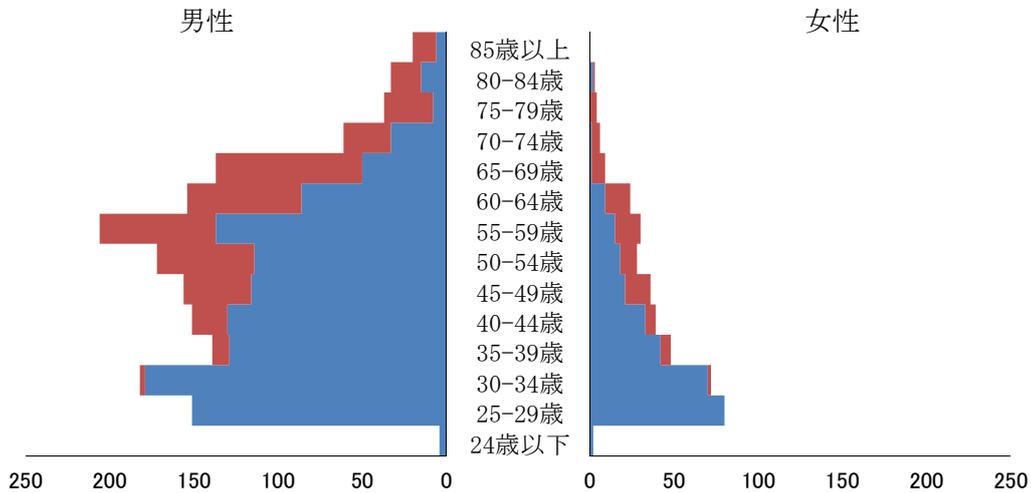
<医師数ピラミッドの推移(含推計)>

(単位:人)

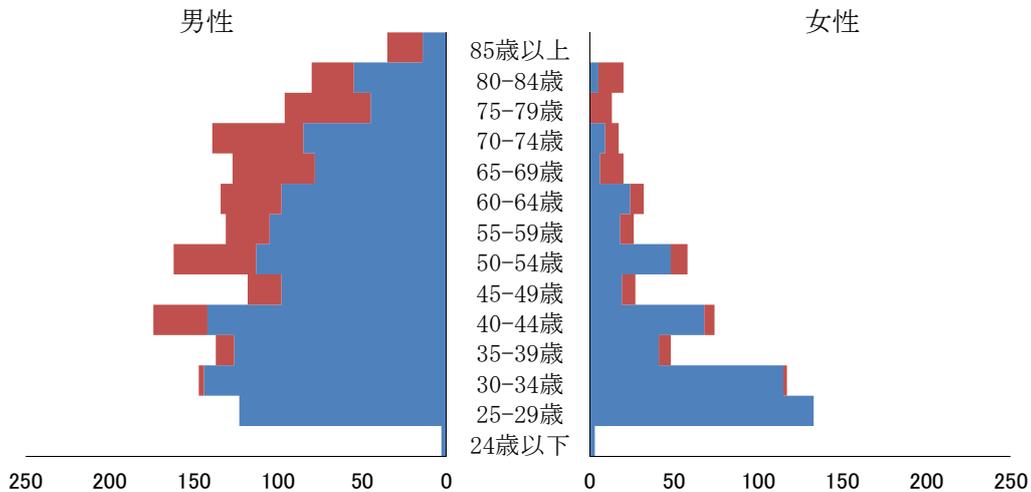
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

県南西部医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	707,450	674,085	628,719	-78,731	-11%	-33,365	-5%	-45,366	-7%	
医療施設勤務医師数	1,984	2,174	2,273	289	15%	190	10%	99	5%	
人口10万対	280.4	322.5	361.5	81.1	29%	42.1	15%	39.0	12%	
男性医師数	1,603	1,711	1,649	46	3%	108	7%	-62	-4%	
人口10万対	226.6	253.8	262.3	35.7	16%	27.2	12%	8.5	3%	
女性医師数	381	468	627	246	65%	87	23%	159	34%	
人口10万対	53.9	69.4	99.7	45.9	85%	15.6	29%	30.3	44%	
病院勤務医師数	1,452	1,619	1,735	283	19%	167	12%	116	7%	
人口10万対	205.2	240.2	276.0	70.7	34%	34.9	17%	35.8	15%	
診療所勤務医師数	532	521	459	-73	-14%	-11	-2%	-62	-12%	
人口10万対	75.2	77.3	73.0	-2.2	-3%	2.1	3%	-4.3	-6%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	491	518	533	42	9%	27	5%	15	3%
	35-49歳	569	572	575	6	1%	3	1%	3	1%
	50-64歳	614	578	581	-33	-5%	-36	-6%	3	1%
	65歳以上	310	506	584	274	88%	196	63%	78	15%
	75歳以上(再掲)	97	162	256	159	164%	65	67%	94	58%
男性	24-34歳	337	356	274	-63	-19%	19	6%	-82	-23%
	35-49歳	446	425	425	-21	-5%	-21	-5%	0	0%
	50-64歳	532	482	449	-83	-16%	-50	-9%	-33	-7%
	65歳以上	288	448	501	213	74%	160	56%	53	12%
	75歳以上(再掲)	90	148	222	132	147%	58	64%	74	50%
女性	24-34歳	154	163	252	98	64%	9	6%	89	55%
	35-49歳	123	152	154	31	25%	29	24%	2	1%
	50-64歳	82	94	131	49	60%	12	15%	37	39%
	65歳以上	22	59	90	68	309%	37	168%	31	53%
	75歳以上(再掲)	7	15	44	37	529%	8	114%	29	193%
病院	24-34歳	486	513	528	42	9%	27	6%	15	3%
	35-49歳	471	485	491	20	4%	14	3%	6	1%
	50-64歳	379	382	406	27	7%	3	1%	24	6%
	65歳以上	116	239	310	194	167%	123	106%	71	30%
	75歳以上(再掲)	31	59	124	93	300%	28	90%	65	110%
診療所	24-34歳	5	5	5	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	98	78	80	-18	-18%	-20	-20%	2	3%
	50-64歳	235	183	131	-104	-44%	-52	-22%	-52	-28%
	65歳以上	194	255	243	49	25%	61	31%	-12	-5%
	75歳以上(再掲)	66	104	117	51	77%	38	58%	13	13%
	85歳以上(再掲)	14	13	21	7	50%	-1	-7%	8	62%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

高梁・新見医療圏

<医師数の推移>

1996年から2016年にかけて、総人口は20,273人(-24%)減少した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は30人(-26%)減少した。2016年の人口10万人当たり医師数は137人であり、全国平均(240人)と比べて低いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は-2%減り、その伸び率は全国平均(31%)を下回る。

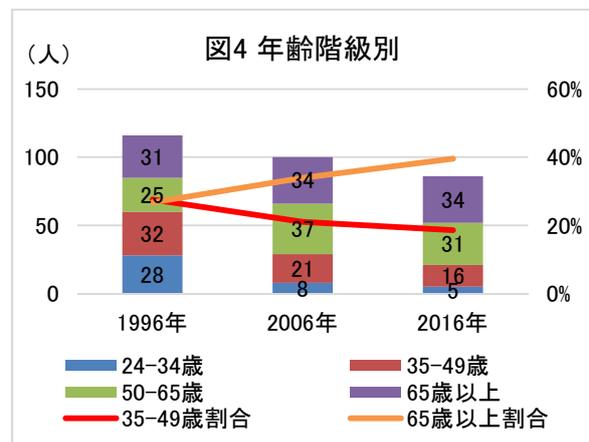
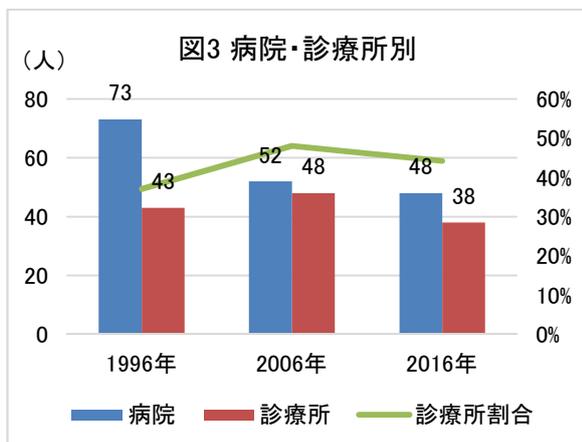
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて28人(-27%)減り、全国平均(20%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に2人(-14%)減り、全国平均(111%)を下回る増加率である。2016年の女性医師割合は14%と、全国平均(21%)を下回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて25人(-34%)減り、全国平均(37%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に5人(-12%)減り、全国平均(25%)を下回る増加率である。2016年の診療所医師割合は44%と、全国平均(34%)を上回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は16人(-50%)減り、全国平均(11%)を下回る増加率となっており、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて3人(10%)増え、全国平均(20%)を下回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年27%、2016年40%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいる。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

高梁・新見医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	83,006	74,872	62,733	-20,273	-24%	-8,134	-10%	-12,139	-16%	
総医師数	126	114	100	-26	-21%	-12	-10%	-14	-12%	
人口10万対	151.8	152.3	159.4	7.6	5%	0.5	0%	7.1	5%	
医療施設勤務医師数	116	100	86	-30	-26%	-16	-14%	-14	-14%	
人口10万対	139.7	133.6	137.1	-2.7	-2%	-6.2	-4%	3.5	3%	
男性医師数	102	89	74	-28	-27%	-13	-13%	-15	-17%	
人口10万対	122.9	118.9	118.0	-4.9	-4%	-4.0	-3%	-0.9	-1%	
女性医師数	14	11	12	-2	-14%	-3	-21%	1	9%	
人口10万対	16.9	14.7	19.1	2.3	13%	-2.2	-13%	4.4	30%	
病院勤務医師数	73	52	48	-25	-34%	-21	-29%	-4	-8%	
人口10万対	87.9	69.5	76.5	-11.4	-13%	-18.5	-21%	7.1	10%	
診療所勤務医師数	43	48	38	-5	-12%	5	12%	-10	-21%	
人口10万対	51.8	64.1	60.6	8.8	17%	12.3	24%	-3.5	-6%	
医療施設勤務医 平均年齢	52.0	58.0	60.5	8.5	16%	6.0	12%	2.5	4%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	28	8	5	-23	-82%	-20	-71%	-3	-38%
	35-49歳	32	21	16	-16	-50%	-11	-34%	-5	-24%
	50-64歳	25	37	31	6	24%	12	48%	-6	-16%
	65歳以上	31	34	34	3	10%	3	10%	0	0%
	75歳以上(再掲)	17	17	12	-5	-29%	0	0%	-5	-29%
男性	24-34歳	23	6	4	-19	-83%	-17	-74%	-2	-33%
	35-49歳	28	17	12	-16	-57%	-11	-39%	-5	-29%
	50-64歳	25	36	28	3	12%	11	44%	-8	-22%
	65歳以上	26	30	30	4	15%	4	15%	0	0%
	75歳以上(再掲)	13	14	9	-4	-31%	1	8%	-5	-36%
女性	24-34歳	5	2	1	-4	-80%	-3	-60%	-1	-50%
	35-49歳	4	4	4	0	0%	0	0%	0	0%
	50-64歳	0	1	3	3		1		2	200%
	65歳以上	5	4	4	-1	-20%	-1	-20%	0	0%
	75歳以上(再掲)	4	3	3	-1	-25%	-1	-25%	0	0%
病院	24-34歳	27	6	4	-23	-85%	-21	-78%	-2	-33%
	35-49歳	20	12	10	-10	-50%	-8	-40%	-2	-17%
	50-64歳	16	17	20	4	25%	1	6%	3	18%
	65歳以上	10	17	14	4	40%	7	70%	-3	-18%
	75歳以上(再掲)	5	6	4	-1	-20%	1	20%	-2	-33%
診療所	24-34歳	1	2	1	0	0%	1	100%	-1	-50%
	35-49歳	12	9	6	-6	-50%	-3	-25%	-3	-33%
	50-64歳	9	20	11	2	22%	11	122%	-9	-45%
	65歳以上	21	17	20	-1	-5%	-4	-19%	3	18%
	75歳以上(再掲)	12	11	8	-4	-33%	-1	-8%	-3	-27%
	85歳以上(再掲)	0	3	4	4		3		1	33%

高梁・新見医療圏

＜医師数の推移＞

高梁・新見医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科はなく、少ない診療科は、内科(総数)、小児科、外科(総数)、小児外科、心臓血管外科、形成外科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、産婦人科(総数)、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、救急科、臨床研修医である。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、内科(総数)、精神科、外科(総数)、脳神経外科、整形外科、泌尿器科である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	116	139.7	45	100	133.6	41	86	137.1	39	-30	-26%	-2.7	-2%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	60	72.3	49	51	68.1	46	40	63.8	42	-20	-33%	-8.5	-12%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	6	7.2	42	5	6.7	39	6	9.6	43	0	0%	2.3	32%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	7	8.4	51	8	10.7	52	6	9.6	45	-1	-14%	1.1	13%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	13	15.7	44	12	16.0	47	8	12.8	42	-5	-38%	-2.9	-19%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	0	0.0	43	0	0.0	41	0	0.0	41	0	0%	0.0	0%
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	0	0.0	39	0	0.0	38	0	0.0	36	0	0%	0.0	0%
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	8	9.6	70	3	4.0	46	4	6.4	52	-4	-50%	-3.3	-34%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	11	13.3	50	11	14.7	50	9	14.3	45	-2	-18%	1.1	8%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	0	0.0	41	0	0.0	39	0	0.0	37	0	0%	0.0	0%
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	1	1.2	38	1	1.3	35	2	3.2	39	1	100%	2.0	165%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	2	2.4	37	4	5.3	40	3	4.8	36	1	50%	2.4	98%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	1	1.2	33	1	1.3	32	3	4.8	42	2	200%	3.6	297%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	1	1.2	37	0	0.0	29	0	0.0	28	-1	-100%	-1.2	-100%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	5	6.0	41	3	4.0	37	5	8.0	45	0	0%	1.9	32%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	0	0.0	40	0	0.0	38	0	0.0	37	0	0%	0.0	0%
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	0	0.0	39	0	0.0	37	0	0.0	36	0	0%	0.0	0%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	0	0.0	38	0	0.0	36	0	0.0	34	0	0%	0.0	0%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				0	0.0	40	0	0.0	38	0	0%	0.0	0%
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				0	0.0	37	0	0.0	36	0	0%	0.0	0%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	1	1.2	43	1	1.3	42	0	0.0	37	-1	-100%	-1.2	-100%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

高梁・新見医療圏

<医師将来推計>

2016年から2036年にかけて、総人口は17,198人(-27%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は35人(-41%)減少すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は112人であり、全国平均(329人)と比べて低いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は-18%減り、その伸び率は全国平均(37%)を下回る。

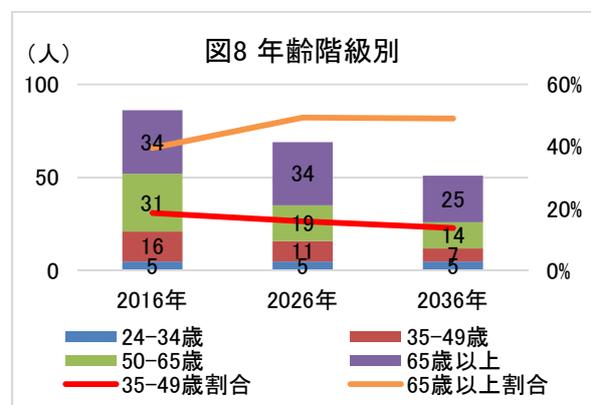
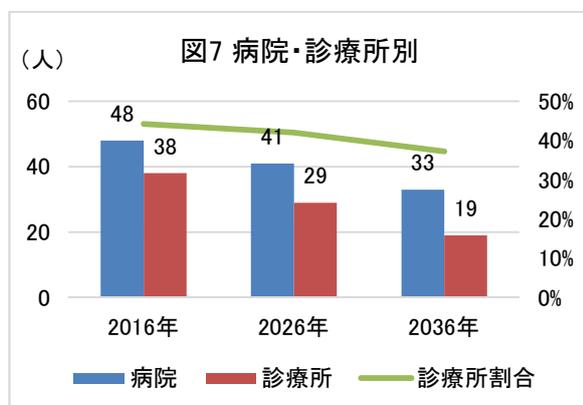
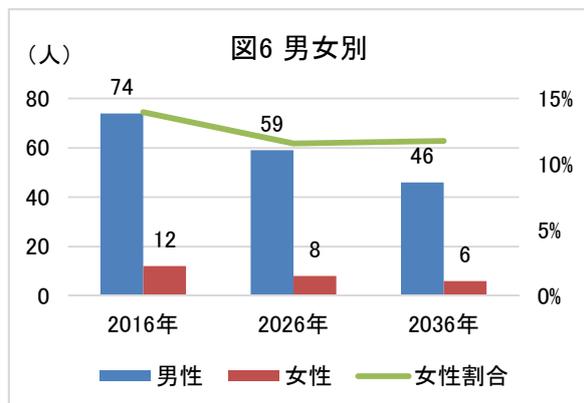
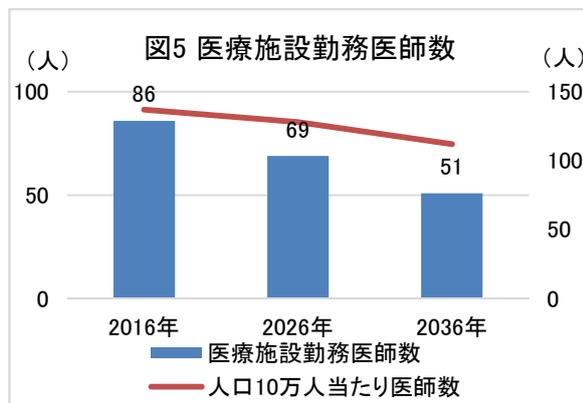
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて28人(-38%)減り、全国平均(7%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に6人(-50%)減り、全国平均(76%)を下回る増加率である。2036年の女性医師割合は12%と、全国平均(31%)を下回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて15人(-31%)減り、全国平均(25%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に19人(-50%)減り、全国平均(-7%)を上回る減少率である。2036年の診療所医師割合は37%と、全国平均(26%)を上回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は9人(-56%)減り、全国平均(8%)を下回る増加率と推計され、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて9人(-26%)減り、全国平均(93%)を下回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年40%、2036年49%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



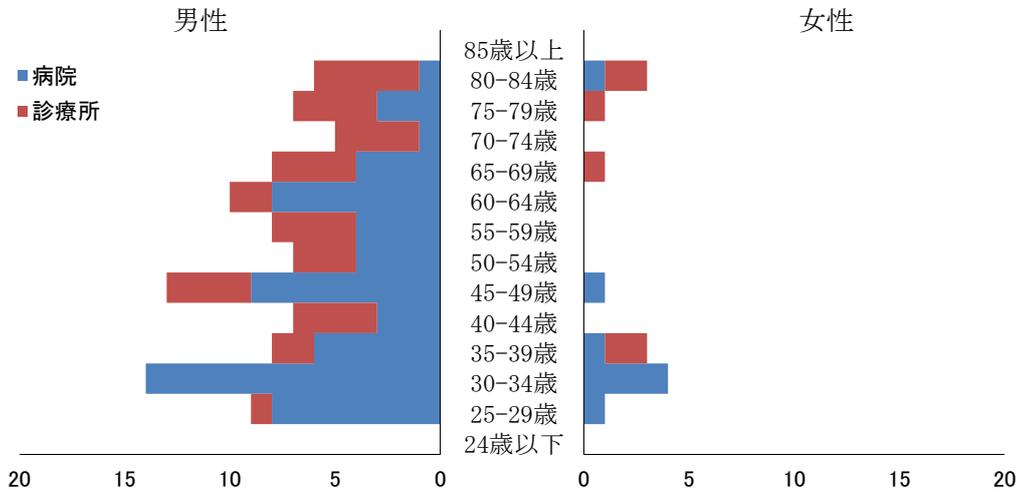
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

高梁・新見医療圏

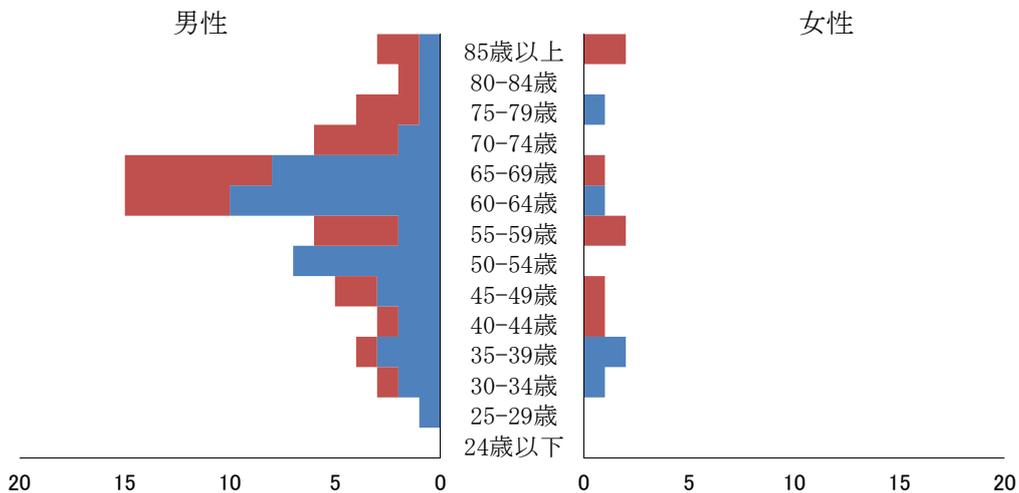
<医師数ピラミッドの推移(含推計)>

(単位:人)

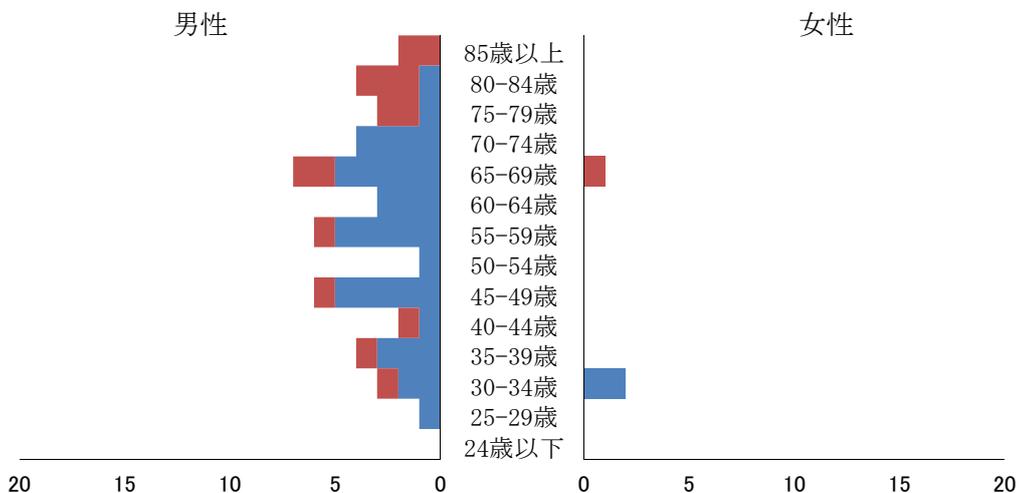
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

高梁・新見医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	62,733	53,920	45,535	-17,198	-27%	-8,813	-14%	-8,385	-16%	
医療施設勤務医師数	86	69	51	-35	-41%	-17	-20%	-18	-26%	
人口10万対	137.1	128.0	112.0	-25.1	-18%	-9.1	-7%	-16.0	-12%	
男性医師数	74	59	46	-28	-38%	-15	-20%	-13	-22%	
人口10万対	118.0	109.4	101.0	-16.9	-14%	-8.5	-7%	-8.4	-8%	
女性医師数	12	8	6	-6	-50%	-4	-33%	-2	-25%	
人口10万対	19.1	14.8	13.2	-6.0	-31%	-4.3	-22%	-1.7	-11%	
病院勤務医師数	48	41	33	-15	-31%	-7	-15%	-8	-20%	
人口10万対	76.5	76.0	72.5	-4.0	-5%	-0.5	-1%	-3.6	-5%	
診療所勤務医師数	38	29	19	-19	-50%	-9	-24%	-10	-34%	
人口10万対	60.6	53.8	41.7	-18.8	-31%	-6.8	-11%	-12.1	-22%	
医療施設 勤務医師 数	24-34歳	5	5	5	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	16	11	7	-9	-56%	-5	-31%	-4	-36%
	50-64歳	31	19	14	-17	-55%	-12	-39%	-5	-26%
	65歳以上	34	34	25	-9	-26%	0	0%	-9	-26%
	75歳以上(再掲)	12	13	12	0	0%	1	8%	-1	-8%
男性	24-34歳	4	4	3	-1	-25%	0	0%	-1	-25%
	35-49歳	12	11	11	-1	-8%	-1	-8%	0	0%
	50-64歳	28	17	11	-17	-61%	-11	-39%	-6	-35%
	65歳以上	30	27	21	-9	-30%	-3	-10%	-6	-22%
	75歳以上(再掲)	9	10	9	0	0%	1	11%	-1	-10%
女性	24-34歳	1	1	2	1	100%	0	0%	1	100%
	35-49歳	4	1	0	-4	-100%	-3	-75%	-1	-100%
	50-64歳	3	1	1	-2	-67%	-2	-67%	0	0%
	65歳以上	4	5	3	-1	-25%	1	25%	-2	-40%
	75歳以上(再掲)	3	3	2	-1	-33%	0	0%	-1	-33%
病院	24-34歳	4	4	4	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	10	9	6	-4	-40%	-1	-10%	-3	-33%
	50-64歳	20	15	10	-10	-50%	-5	-25%	-5	-33%
	65歳以上	14	13	13	-1	-7%	-1	-7%	0	0%
	75歳以上(再掲)	4	4	3	-1	-25%	0	0%	-1	-25%
診療所	24-34歳	1	1	1	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	6	3	3	-3	-50%	-3	-50%	0	0%
	50-64歳	11	4	1	-10	-91%	-7	-64%	-3	-75%
	65歳以上	20	21	14	-6	-30%	1	5%	-7	-33%
	75歳以上(再掲)	8	11	11	3	38%	3	38%	0	0%
	85歳以上(再掲)	4	3	4	0	0%	-1	-25%	1	33%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

真庭医療圏

<医師数の推移>

1996年から2016年にかけて、総人口は10,718人(-19%)減少した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は20人(-20%)減少した。2016年の人口10万人当たり医師数は166人であり、全国平均(240人)と比べて低いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は-2%減り、その伸び率は全国平均(31%)を下回る。

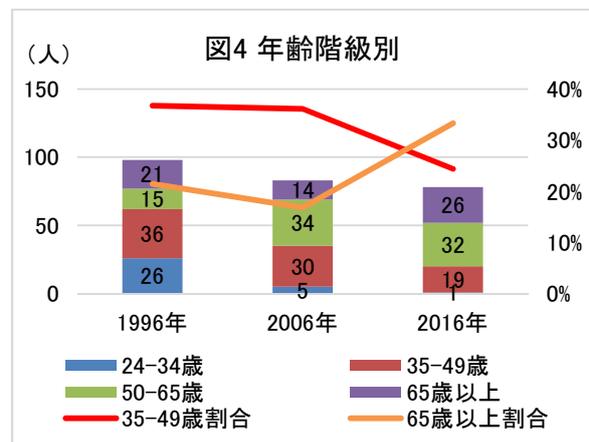
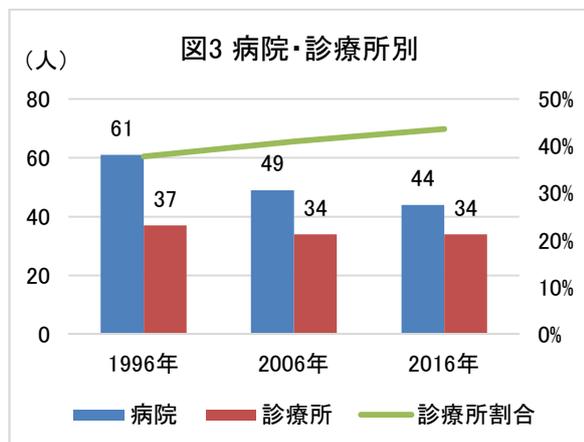
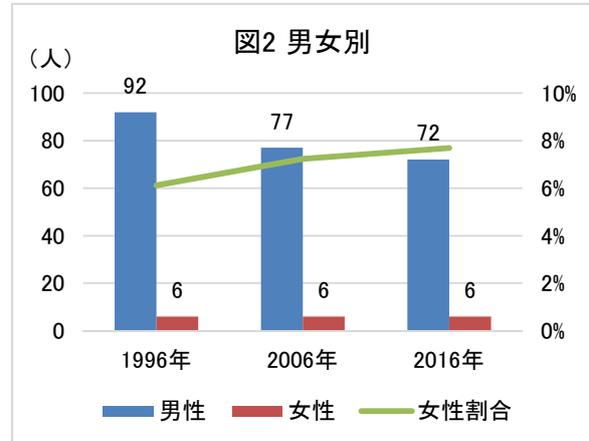
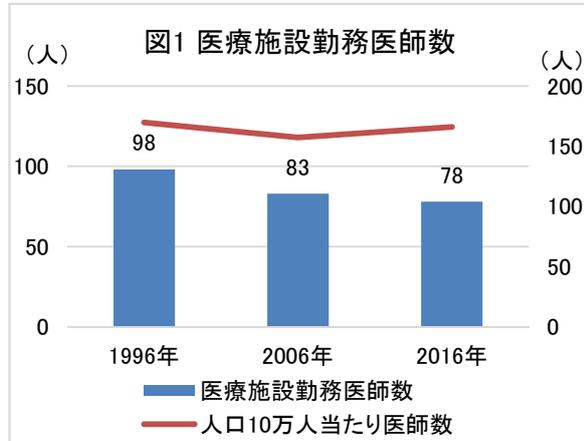
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて20人(-22%)減り、全国平均(20%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に増減がなく、全国平均(111%)を下回る増加率である。2016年の女性医師割合は8%と、全国平均(21%)を下回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて17人(-28%)減り、全国平均(37%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に3人(-8%)減り、全国平均(25%)を下回る増加率である。2016年の診療所医師割合は44%と、全国平均(34%)を上回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は17人(-47%)減り、全国平均(11%)を下回る増加率となっており、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて5人(24%)増え、全国平均(20%)を上回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年21%、2016年33%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいる。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

真庭医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	57,708	52,801	46,990	-10,718	-19%	-4,907	-9%	-5,811	-11%	
総医師数	99	85	81	-18	-18%	-14	-14%	-4	-5%	
人口10万対	171.6	161.0	172.4	0.8	0%	-10.6	-6%	11.4	7%	
医療施設勤務医師数	98	83	78	-20	-20%	-15	-15%	-5	-6%	
人口10万対	169.8	157.2	166.0	-3.8	-2%	-12.6	-7%	8.8	6%	
男性医師数	92	77	72	-20	-22%	-15	-16%	-5	-6%	
人口10万対	159.4	145.8	153.2	-6.2	-4%	-13.6	-9%	7.4	5%	
女性医師数	6	6	6	0	0%	0	0%	0	0%	
人口10万対	10.4	11.4	12.8	2.4	23%	1.0	9%	1.4	12%	
病院勤務医師数	61	49	44	-17	-28%	-12	-20%	-5	-10%	
人口10万対	105.7	92.8	93.6	-12.1	-11%	-12.9	-12%	0.8	1%	
診療所勤務医師数	37	34	34	-3	-8%	-3	-8%	0	0%	
人口10万対	64.1	64.4	72.4	8.2	13%	0.3	0%	8.0	12%	
医療施設勤務医 平均年齢	49.2	53.4	58.2	9.1	18%	4.2	9%	4.8	9%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	26	5	1	-25	-96%	-21	-81%	-4	-80%
	35-49歳	36	30	19	-17	-47%	-6	-17%	-11	-37%
	50-64歳	15	34	32	17	113%	19	127%	-2	-6%
	65歳以上	21	14	26	5	24%	-7	-33%	12	86%
	75歳以上(再掲)	7	7	8	1	14%	0	0%	1	14%
男性	24-34歳	25	3	1	-24	-96%	-22	-88%	-2	-67%
	35-49歳	35	26	15	-20	-57%	-9	-26%	-11	-42%
	50-64歳	15	34	30	15	100%	19	127%	-4	-12%
	65歳以上	17	14	26	9	53%	-3	-18%	12	86%
	75歳以上(再掲)	5	7	8	3	60%	2	40%	1	14%
女性	24-34歳	1	2	0	-1	-100%	1	100%	-2	-100%
	35-49歳	1	4	4	3	300%	3	300%	0	0%
	50-64歳	0	0	2	2		0		2	
	65歳以上	4	0	0	-4	-100%	-4	-100%	0	
	75歳以上(再掲)	2	0	0	-2	-100%	-2	-100%	0	
病院	24-34歳	25	5	1	-24	-96%	-20	-80%	-4	-80%
	35-49歳	24	23	13	-11	-46%	-1	-4%	-10	-43%
	50-64歳	6	18	20	14	233%	12	200%	2	11%
	65歳以上	6	3	10	4	67%	-3	-50%	7	233%
	75歳以上(再掲)	1	2	2	1	100%	1	100%	0	0%
診療所	24-34歳	1	0	0	-1	-100%	-1	-100%	0	
	35-49歳	12	7	6	-6	-50%	-5	-42%	-1	-14%
	50-64歳	9	16	12	3	33%	7	78%	-4	-25%
	65歳以上	15	11	16	1	7%	-4	-27%	5	45%
	75歳以上(再掲)	6	5	6	0	0%	-1	-17%	1	20%
	85歳以上(再掲)	2	0	2	0	0%	-2	-100%	2	

真庭医療圏

<医師数の推移>

真庭医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科は、外科(総数)、脳神経外科であり、少ない診療科は、小児科、小児外科、心臓血管外科、形成外科、皮膚科、眼科、泌尿器科、産婦人科(総数)、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、救急科、臨床研修医である。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、内科(総数)、外科(総数)、皮膚科、泌尿器科、産婦人科(総数)、放射線科、麻酔科である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、脳神経外科、整形外科、耳鼻咽喉科である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	98	169.8	48	83	157.2	44	78	166.0	42	-20	-20%	-3.8	-2%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	51	88.4	54	33	62.5	44	38	80.9	47	-13	-25%	-7.5	-8%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	1	1.7	29	1	1.9	28	1	2.1	29	0	0%	0.4	23%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	4	6.9	47	7	13.3	58	5	10.6	47	1	25%	3.7	54%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	21	36.4	67	19	36.0	76	14	29.8	65	-7	-33%	-6.6	-18%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	0	0.0	43	0	0.0	41	0	0.0	41	0	0%	0.0	0%
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	0	0.0	39	0	0.0	38	0	0.0	36	0	0%	0.0	0%
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	2	3.5	46	3	5.7	53	4	8.5	60	2	100%	5.0	146%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	5	8.7	41	7	13.3	47	8	17.0	51	3	60%	8.4	96%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	0	0.0	41	0	0.0	39	0	0.0	37	0	0%	0.0	0%
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	1	1.7	39	2	3.8	43	0	0.0	30	-1	-100%	-1.7	-100%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	0	0.0	31	1	1.9	31	1	2.1	30	1	0%	2.1	0%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	2	3.5	40	2	3.8	40	3	6.4	47	1	50%	2.9	84%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	3	5.2	55	1	1.9	37	0	0.0	28	-3	-100%	-5.2	-100%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	3	5.2	39	4	7.6	46	2	4.3	37	-1	-33%	-0.9	-18%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	0	0.0	40	0	0.0	38	0	0.0	37	0	0%	0.0	0%
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	3	5.2	56	1	1.9	44	0	0.0	36	-3	-100%	-5.2	-100%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	1	1.7	43	0	0.0	36	0	0.0	34	-1	-100%	-1.7	-100%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				0	0.0	40	0	0.0	38	0	0%	0.0	0%
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				0	0.0	37	0	0.0	36	0	0%	0.0	0%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	1	1.7	44	2	3.8	47	2	4.3	45	1	100%	2.5	146%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

真庭医療圏

< 医師将来推計 >

2016年から2036年にかけて、総人口は11,363人(-24%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は24人(-31%)減少すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は152人であり、全国平均(329人)と比べて低いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は-9%減り、その伸び率は全国平均(37%)を下回る。

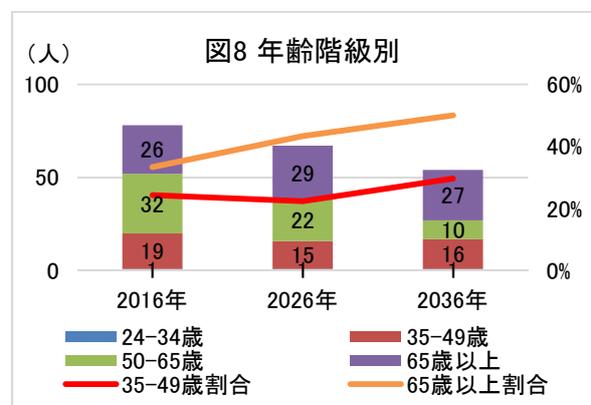
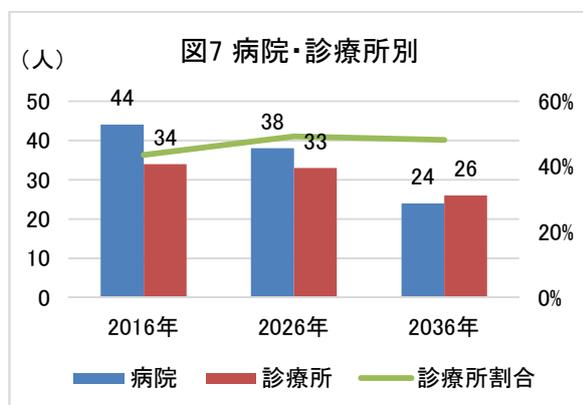
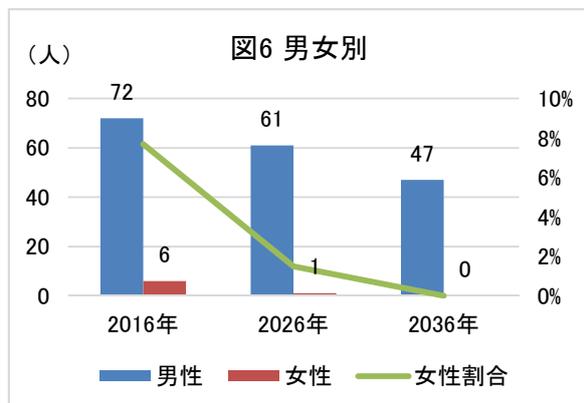
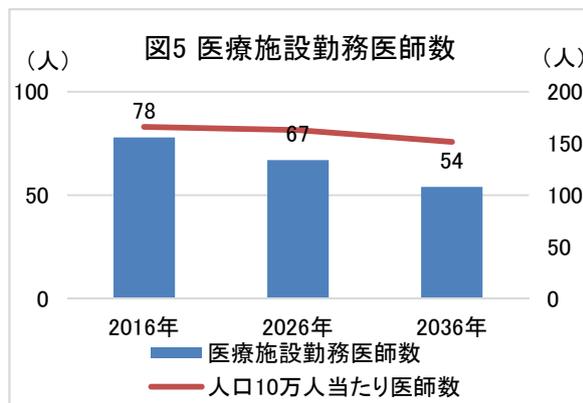
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて25人(-35%)減り、全国平均(7%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に6人(-100%)減り、全国平均(76%)を下回る増加率である。2036年の女性医師割合は0%と、全国平均(31%)を下回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて20人(-45%)減り、全国平均(25%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に8人(-24%)減り、全国平均(-7%)を上回る減少率である。2036年の診療所医師割合は48%と、全国平均(26%)を上回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は3人(-16%)減り、全国平均(8%)を下回る増加率と推計され、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて1人(4%)増え、全国平均(93%)を下回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年33%、2036年50%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



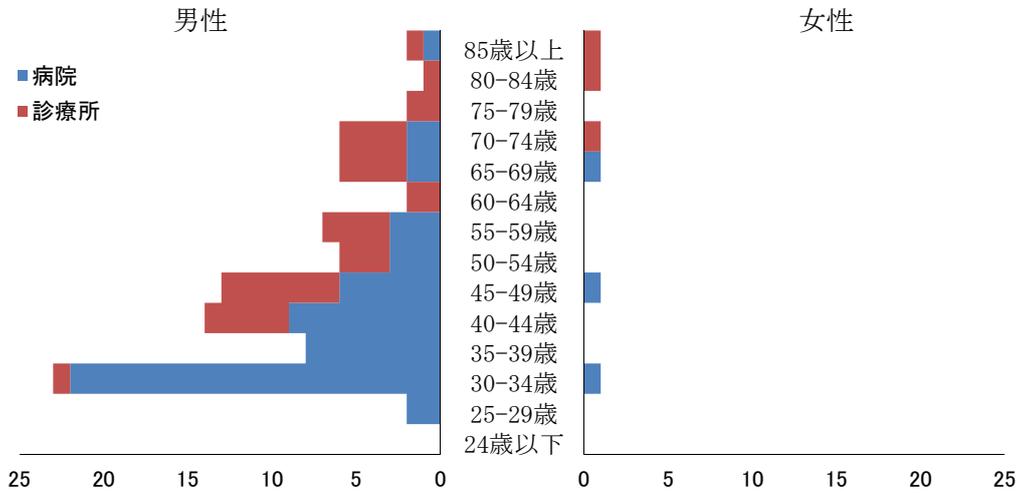
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

真庭医療圏

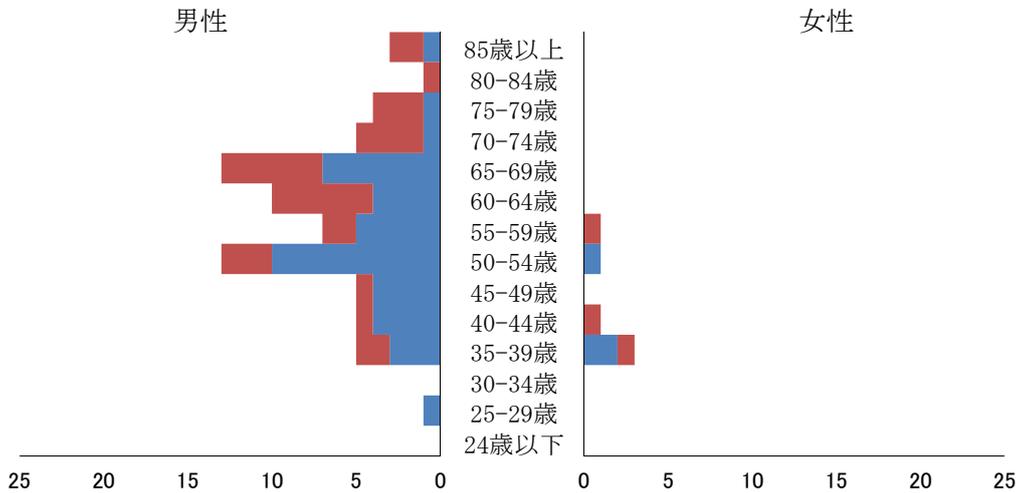
<医師数ピラミッドの推移(含推計)>

(単位:人)

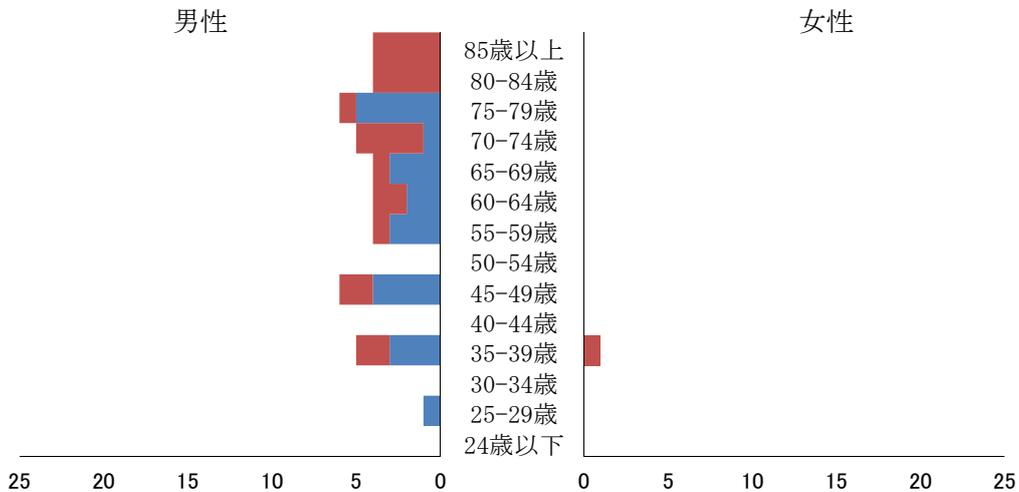
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

真庭医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	46,990	41,059	35,627	-11,363	-24%	-5,931	-13%	-5,432	-13%	
医療施設勤務医師数	78	67	54	-24	-31%	-11	-14%	-13	-19%	
人口10万対	166.0	163.2	151.6	-14.4	-9%	-2.8	-2%	-11.6	-7%	
男性医師数	72	61	47	-25	-35%	-11	-15%	-14	-23%	
人口10万対	153.2	148.6	131.9	-21.3	-14%	-4.7	-3%	-16.6	-11%	
女性医師数	6	1	0	-6	-100%	-5	-83%	-1	-100%	
人口10万対	12.8	2.4	0.0	-12.8	-100%	-10.3	-81%	-2.4	-100%	
病院勤務医師数	44	38	24	-20	-45%	-6	-14%	-14	-37%	
人口10万対	93.6	92.5	67.4	-26.3	-28%	-1.1	-1%	-25.2	-27%	
診療所勤務医師数	34	33	26	-8	-24%	-1	-3%	-7	-21%	
人口10万対	72.4	80.4	73.0	0.6	1%	8.0	11%	-7.4	-9%	
医療施設 勤務医師 数	24-34歳	1	1	1	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	19	15	16	-3	-16%	-4	-21%	1	7%
	50-64歳	32	22	10	-22	-69%	-10	-31%	-12	-55%
	65歳以上	26	29	27	1	4%	3	12%	-2	-7%
	75歳以上(再掲)	8	16	16	8	100%	8	100%	0	0%
男性	24-34歳	1	1	1	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	15	11	11	-4	-27%	-4	-27%	0	0%
	50-64歳	30	20	9	-21	-70%	-10	-33%	-11	-55%
	65歳以上	26	29	26	0	0%	3	12%	-3	-10%
	75歳以上(再掲)	8	16	15	7	88%	8	100%	-1	-6%
女性	24-34歳	0	0	0	0		0		0	
	35-49歳	4	0	0	-4	-100%	-4	-100%	0	
	50-64歳	2	1	0	-2	-100%	-1	-50%	-1	-100%
	65歳以上	0	0	0	0		0		0	
	75歳以上(再掲)	0	0	0	0		0		0	
病院	24-34歳	1	1	1	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	13	9	9	-4	-31%	-4	-31%	0	0%
	50-64歳	20	14	5	-15	-75%	-6	-30%	-9	-64%
	65歳以上	10	14	9	-1	-10%	4	40%	-5	-36%
	75歳以上(再掲)	2	8	5	3	150%	6	300%	-3	-38%
診療所	24-34歳	0	0	0	0		0		0	
	35-49歳	6	6	6	0	0%	0	0%	0	0%
	50-64歳	12	7	5	-7	-58%	-5	-42%	-2	-29%
	65歳以上	16	20	15	-1	-6%	4	25%	-5	-25%
	75歳以上(再掲)	6	9	10	4	67%	3	50%	1	11%
	85歳以上(再掲)	2	2	4	2	100%	0	0%	2	100%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

津山・英田医療圏

＜医師数の推移＞

1996年から2016年にかけて、総人口は28,397人（-13%）減少した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は41人（13%）増加した。2016年の人口10万人当たり医師数は197人であり、全国平均（240人）と比べて低いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は30%増え、その伸び率は全国平均（31%）を下回る。

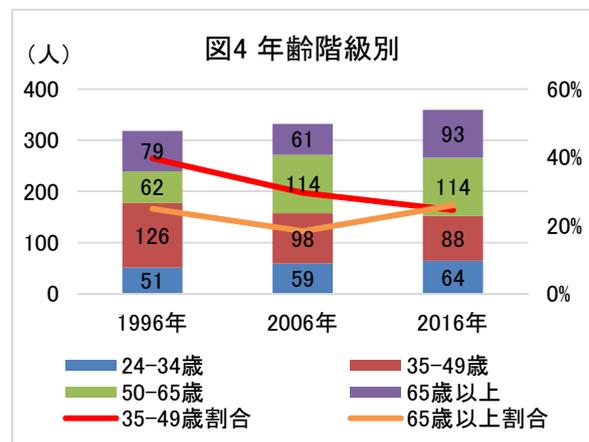
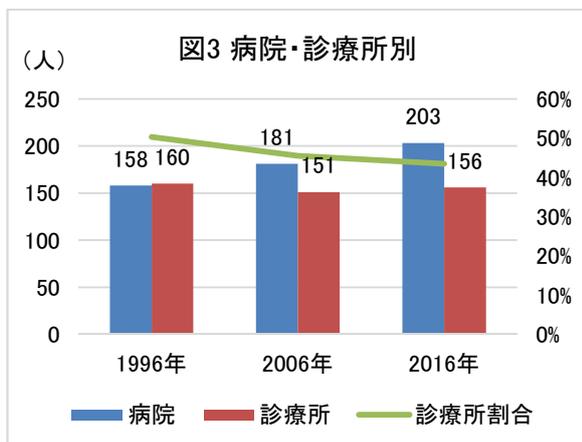
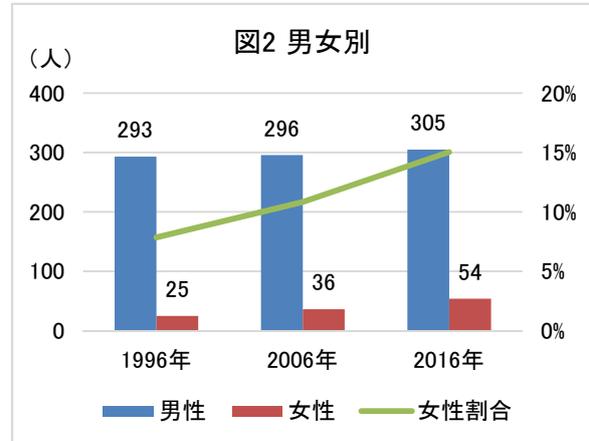
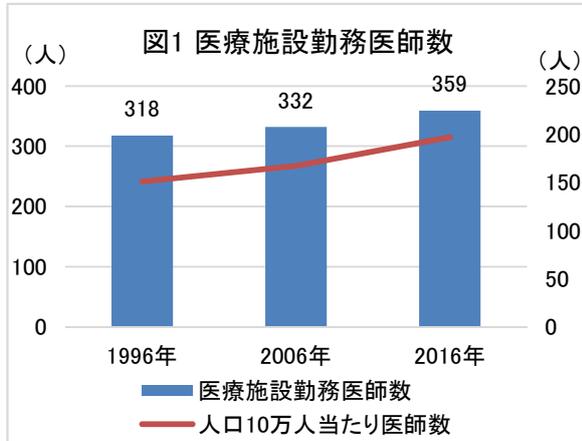
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて12人（4%）増え、全国平均（20%）を下回る増加率である。女性医師は、同期間に29人（116%）増え、全国平均（111%）を上回る増加率である。2016年の女性医師割合は15%と、全国平均（21%）を下回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて45人（28%）増え、全国平均（37%）を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に4人（-3%）減り、全国平均（25%）を下回る増加率である。2016年の診療所医師割合は43%と、全国平均（34%）を上回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は38人（-30%）減り、全国平均（11%）を下回る増加率となっており、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて14人（18%）増え、全国平均（20%）を下回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年25%、2016年26%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいる。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

津山・英田医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	210,809	198,796	182,412	-28,397	-13%	-12,013	-6%	-16,384	-8%	
総医師数	325	340	364	39	12%	15	5%	24	7%	
人口10万対	154.2	171.0	199.5	45.4	29%	16.9	11%	28.5	17%	
医療施設勤務医師数	318	332	359	41	13%	14	4%	27	8%	
人口10万対	150.8	167.0	196.8	46.0	30%	16.2	11%	29.8	18%	
男性医師数	293	296	305	12	4%	3	1%	9	3%	
人口10万対	139.0	148.9	167.2	28.2	20%	9.9	7%	18.3	12%	
女性医師数	25	36	54	29	116%	11	44%	18	50%	
人口10万対	11.9	18.1	29.6	17.7	150%	6.2	53%	11.5	63%	
病院勤務医師数	158	181	203	45	28%	23	15%	22	12%	
人口10万対	74.9	91.0	111.3	36.3	48%	16.1	21%	20.2	22%	
診療所勤務医師数	160	151	156	-4	-3%	-9	-6%	5	3%	
人口10万対	75.9	76.0	85.5	9.6	13%	0.1	0%	9.6	13%	
医療施設勤務医 平均年齢	51.5	50.9	53.1	1.6	3%	-0.6	-1%	2.2	4%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	51	59	64	13	25%	8	16%	5	8%
	35-49歳	126	98	88	-38	-30%	-28	-22%	-10	-10%
	50-64歳	62	114	114	52	84%	52	84%	0	0%
	65歳以上	79	61	93	14	18%	-18	-23%	32	52%
	75歳以上(再掲)	34	26	31	-3	-9%	-8	-24%	5	19%
男性	24-34歳	45	43	41	-4	-9%	-2	-4%	-2	-5%
	35-49歳	113	91	72	-41	-36%	-22	-19%	-19	-21%
	50-64歳	60	101	106	46	77%	41	68%	5	5%
	65歳以上	75	61	86	11	15%	-14	-19%	25	41%
	75歳以上(再掲)	31	26	30	-1	-3%	-5	-16%	4	15%
女性	24-34歳	6	16	23	17	283%	10	167%	7	44%
	35-49歳	13	7	16	3	23%	-6	-46%	9	129%
	50-64歳	2	13	8	6	300%	11	550%	-5	-38%
	65歳以上	4	0	7	3	75%	-4	-100%	7	
	75歳以上(再掲)	3	0	1	-2	-67%	-3	-100%	1	
病院	24-34歳	50	54	56	6	12%	4	8%	2	4%
	35-49歳	65	68	64	-1	-2%	3	5%	-4	-6%
	50-64歳	20	38	53	33	165%	18	90%	15	39%
	65歳以上	23	21	30	7	30%	-2	-9%	9	43%
	75歳以上(再掲)	9	8	11	2	22%	-1	-11%	3	38%
診療所	24-34歳	1	5	8	7	700%	4	400%	3	60%
	35-49歳	61	30	24	-37	-61%	-31	-51%	-6	-20%
	50-64歳	42	76	61	19	45%	34	81%	-15	-20%
	65歳以上	56	40	63	7	13%	-16	-29%	23	58%
	75歳以上(再掲)	25	18	20	-5	-20%	-7	-28%	2	11%
	85歳以上(再掲)	4	1	5	1	25%	-3	-75%	4	400%

津山・英田医療圏

＜医師数の推移＞

津山・英田医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科はなく、少ない診療科は、小児科、精神科、小児外科、脳神経外科、整形外科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、産婦人科(総数)、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科である。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、内科(総数)、外科(総数)、眼科、耳鼻咽喉科、産婦人科(総数)、救急科である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、心臓血管外科、形成外科、放射線科、麻酔科である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	318	150.8	46	332	167.0	45	359	196.8	45	41	13%	46.0	30%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	177	84.0	53	155	78.0	50	173	94.8	52	-4	-2%	10.9	13%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	14	6.6	40	18	9.1	44	19	10.4	45	5	36%	3.8	57%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	13	6.2	45	16	8.0	46	16	8.8	44	3	23%	2.6	42%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	34	16.1	45	34	17.1	48	31	17.0	47	-3	-9%	0.9	5%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	0	0.0	43	2	1.0	58	0	0.0	41	0	0%	0.0	0%
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	2	0.9	45	3	1.5	47	4	2.2	48	2	100%	1.2	131%
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	5	2.4	42	6	3.0	42	6	3.3	40	1	20%	0.9	39%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	18	8.5	41	21	10.6	41	19	10.4	38	1	6%	1.9	22%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	1	0.5	45	4	2.0	54	3	1.6	47	2	200%	1.2	247%
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	7	3.3	44	6	3.0	40	9	4.9	44	2	29%	1.6	49%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	12	5.7	44	9	4.5	38	9	4.9	37	-3	-25%	-0.8	-13%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	9	4.3	42	8	4.0	41	8	4.4	41	-1	-11%	0.1	3%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	4	1.9	40	4	2.0	38	5	2.7	39	1	25%	0.8	44%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	12	5.7	40	13	6.5	43	10	5.5	39	-2	-17%	-0.2	-4%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	0	0.0	40	2	1.0	46	2	1.1	44	2	100%	1.1	100%
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	2	0.9	42	4	2.0	44	5	2.7	43	3	150%	1.8	189%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	2	0.9	41	2	1.0	39	5	2.7	40	3	150%	1.8	189%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				5	2.5	59	4	2.2	48	-1	-20%	-0.3	-13%
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				14	7.0	45	18	9.9	46	18	29%	2.8	40%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	6	2.8	46	6	3.0	46	13	7.1	50	7	117%	4.3	150%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

津山・英田医療圏

<医師将来推計>

2016年から2036年にかけて、総人口は37,288人(-20%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は12人(3%)増加すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は256人であり、全国平均(329人)と比べて低いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は30%増え、その伸び率は全国平均(37%)を下回る。

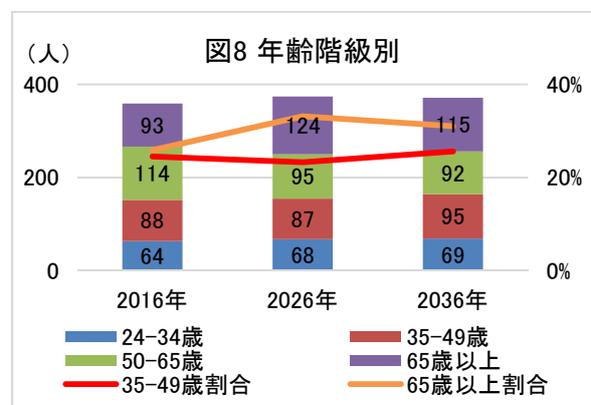
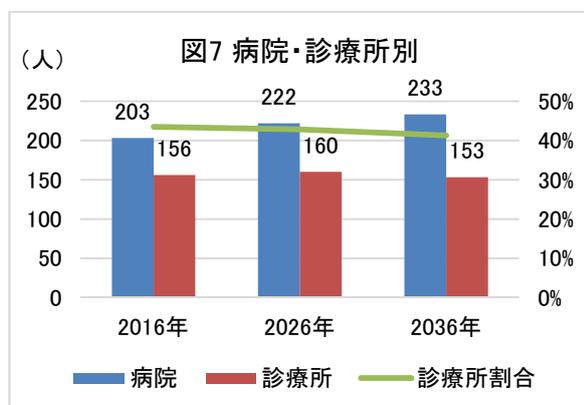
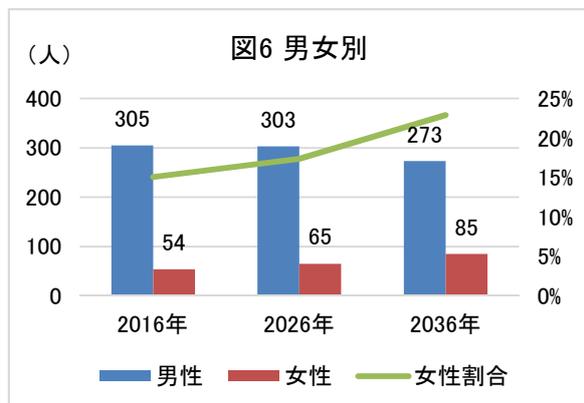
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて32人(-10%)減り、全国平均(7%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に31人(57%)増え、全国平均(76%)を下回る増加率である。2036年の女性医師割合は23%と、全国平均(31%)を下回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて30人(15%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に3人(-2%)減り、全国平均(-7%)を下回る減少率である。2036年の診療所医師割合は41%と、全国平均(26%)を上回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は7人(8%)増え、全国平均(8%)と同程度の減少率と推計された。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて22人(24%)増え、全国平均(93%)を下回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年26%、2036年31%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



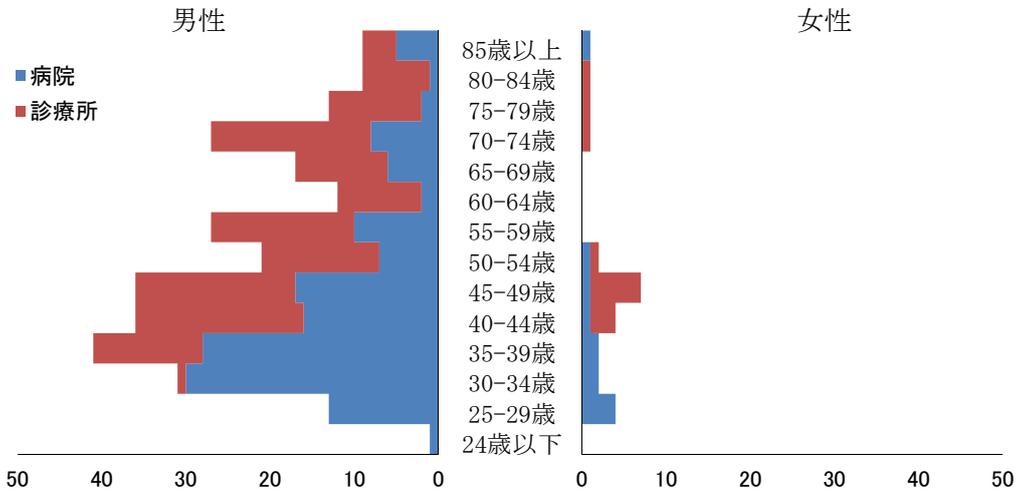
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

津山・英田医療圏

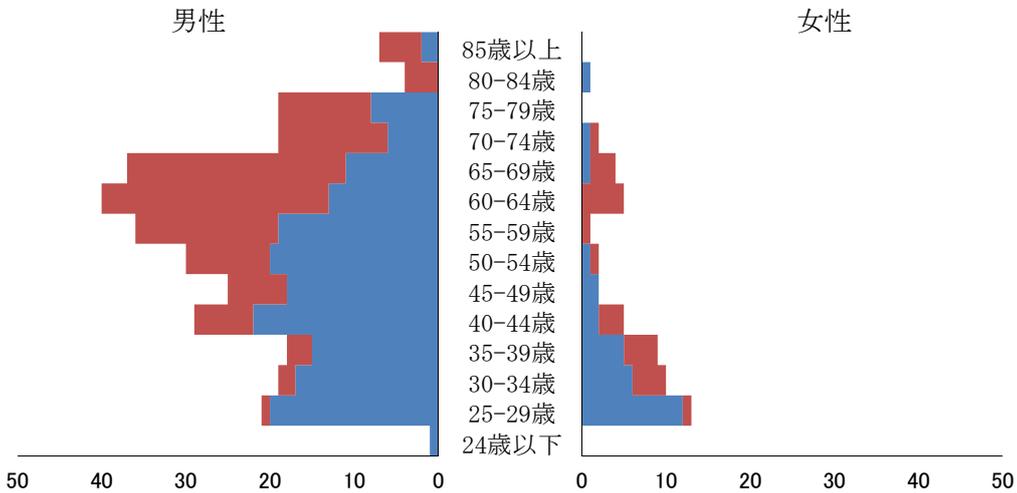
<医師数ピラミッドの推移(含推計)>

(単位:人)

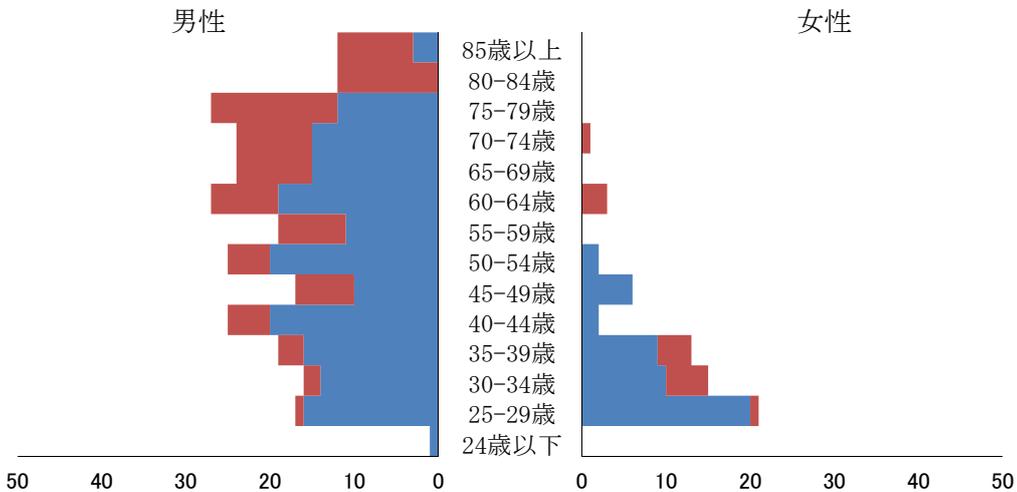
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

津山・英田医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	182,412	163,149	145,124	-37,288	-20%	-19,263	-11%	-18,025	-11%	
医療施設勤務医師数	359	374	371	12	3%	15	4%	-3	-1%	
人口10万対	196.8	229.2	255.6	58.8	30%	32.4	16%	26.4	12%	
男性医師数	305	303	273	-32	-10%	-2	-1%	-30	-10%	
人口10万対	167.2	185.7	188.1	20.9	13%	18.5	11%	2.4	1%	
女性医師数	54	65	85	31	57%	11	20%	20	31%	
人口10万対	29.6	39.8	58.6	29.0	98%	10.2	35%	18.7	47%	
病院勤務医師数	203	222	233	30	15%	19	9%	11	5%	
人口10万対	111.3	136.1	160.6	49.3	44%	24.8	22%	24.5	18%	
診療所勤務医師数	156	160	153	-3	-2%	4	3%	-7	-4%	
人口10万対	85.5	98.1	105.4	19.9	23%	12.5	15%	7.4	8%	
医療施設 勤務医師 数	24-34歳	64	68	69	5	8%	4	6%	1	1%
	35-49歳	88	87	95	7	8%	-1	-1%	8	9%
	50-64歳	114	95	92	-22	-19%	-19	-17%	-3	-3%
	65歳以上	93	124	115	22	24%	31	33%	-9	-7%
	75歳以上(再掲)	31	50	60	29	94%	19	61%	10	20%
男性	24-34歳	41	43	33	-8	-20%	2	5%	-10	-23%
	35-49歳	72	59	62	-10	-14%	-13	-18%	3	5%
	50-64歳	106	86	72	-34	-32%	-20	-19%	-14	-16%
	65歳以上	86	115	106	20	23%	29	34%	-9	-8%
	75歳以上(再掲)	30	44	54	24	80%	14	47%	10	23%
女性	24-34歳	23	24	37	14	61%	1	4%	13	54%
	35-49歳	16	26	29	13	81%	10	63%	3	12%
	50-64歳	8	9	16	8	100%	1	13%	7	78%
	65歳以上	7	6	3	-4	-57%	-1	-14%	-3	-50%
	75歳以上(再掲)	1	0	0	-1	-100%	-1	-100%	0	
病院	24-34歳	56	60	61	5	9%	4	7%	1	2%
	35-49歳	64	58	63	-1	-2%	-6	-9%	5	9%
	50-64歳	53	63	56	3	6%	10	19%	-7	-11%
	65歳以上	30	41	53	23	77%	11	37%	12	29%
	75歳以上(再掲)	11	15	20	9	82%	4	36%	5	33%
診療所	24-34歳	8	8	8	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	24	39	41	17	71%	15	63%	2	5%
	50-64歳	61	30	47	-14	-23%	-31	-51%	17	57%
	65歳以上	63	83	57	-6	-10%	20	32%	-26	-31%
	75歳以上(再掲)	20	36	39	19	95%	16	80%	3	8%
	85歳以上(再掲)	5	6	10	5	100%	1	20%	4	67%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)